

北海道議会時報

昭和58年第6号

第3回定例会

企業会計決算特別委員会(57年度決算)



北海道議会事務局

(表紙写真説明)

支笏湖

.....第6号もくじ.....

第3回定例会

概要	1
本会議	2
提出案件	13
決議案	16
意見案	16
請願・陳情	22

委員会の動き

議会運営委員会	24
常任委員会	31
特別委員会	39
総合開発調査特別委員会	
石炭対策特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
公害対策特別委員会	
冷害対策特別委員会	
予算特別委員会	
企業会計決算特別委員会	

会合

全国都道府県議会議長会	52
10都道府県議会議長会	53

資料

第3回定例会において議決を経た 条例の公布調	54
---------------------------	----

10月・11月のメモ

議会日誌

▶ 9月

- 27日（火） 議会運営、各常任・特別委員会
28日（水） (第3回定例会閉会)
議会運営、水産、総合開発調査特別各委員会
本会議 (会期決定<24日間>、提案説明、前会より継続審査の企業会計決算認定、意見案2件可決)

▶ 10月

- 4日（火） 議会運営委員会
本会議 (代表質問<2人>)
5日（水） 議会運営委員会
本会議 (日程延期)
6日（木） 議会運営委員会
本会議 (日程延期)
7日（金） 議会運営委員会
本会議 (日程延期)
8日（土） 議会運営委員会
本会議 (日程延期)
11日（火） 議会運営委員会
本会議 (決議案1件可決、冷害対策特別委員会設置、代表質問<2人>、一般質問<2人>) 冷害対策特別委員会 (正副委員長の互選)
12日（水） 議会運営委員会
本会議 (一般質問<3人>)
13日（木） 議会運営委員会
本会議 (一般質問<6人>)
14日（金） 議会運営委員会
本会議 (-般質問<5人>)
15日（土） 議会運営委員会
本会議 (日程延期)

17日（月） 議会運営委員会

本会議 (一般質問<2人>、予算特別委員会設置)
予算特別委員会 (正副委員長の互選、予算第1・第2分科会設置) 予算第1・第2各分科会 (正副委員長の互選)

18日（火）
19日（水）
20日（木） } 予算第1・第2各分科会 (各部所管審査)

21日（金） 議会運営委員会
予算第2分科会 (各部所管審査)
本会議 (会期延長<1日間>)
22日（土） 議会運営、各常任、冷害対策特別各委員会、予算第2分科会 (各部所管審査)
予算特別委員会 (総括質疑、意見調整)

本会議 (各委員長報告、補正予算等可決、追加提案説明、教育委員会委員、公害審査会委員及び土地利用審査会委員の選任同意、意見案5件可決、陳情審査)

(第3回定例会閉会)

24日（月） 各常任、石炭対策特別、北方領土対策特別各委員会

▶ 11月

- 4日（金） 厚生、商工労働、農務、水産、文教林務、冷害対策特別各委員会
7日（月） 総務、建設、農地開発各委員会
29日（火） 文教林務委員会

第3回定例会

総額140億3500万円余の補正予算可決

▶ 冷害対策特別委員会設置 ◀

概要

- ① 景気浮揚対策に係る補正予算などを審議する第3回定例会は、9月28日招集され、今期定例会の会期を10月21日までの24日間と決定の後、常任委員の所属変更及び特別委員の補欠選任を行った。引き続き、総額140億3500万円余の補正予算等25件が上程され、知事から昭和58年冷害及び大雨災害等に関する概要報告並びに提案説明。次に、前会から継続審査中の昭和57年度企業会計決算について、企業会計決算特別委員長報告の後、討論、採決の結果、認定議決又は意見を付し認定議決。次に、「大韓航空機墜事件に関する要望意見案」ほか1件の意見案を原案可決し、議案調査のため9月29日から10月3日まで休会した。
- ② 休会あけの10月4日から代表質問に入ったが、政教分離・自衛隊問題などに係る答弁をめぐって議事が中断、一方、新聞報道に係る議員の発言問題が議会運営委員会において提起され、その取り扱いをめぐり審議が難航、正副議長が中心になって局面の打開が図られ、11日によく審議が再開されるに至り、同日、冷害対策特別委員会を設置のうえ委員の選任を行った後、代表質問を終え一般質問に入った。

10月17日には、一般質問を終え、予算特別委員会を設置の上、議案の各委員会付託を行い、各委員会付託議案審査のため10月18日から20日まで3日間休会した。

- ③ 予算特別委員会は、10月17日、正副委員長の互選を行い、2分科会を設置の上、18日から補正予算等に対する各部所管審査に入り、22日にこれを終え、同日、各分科委員長報告の後、知事に対する総括質疑を行い、意見調整の結果、全会一致原案可決と決定した。
- ④ 本会議再開日の10月21日は、会期を22日まで1日間延長することに決定。会期最終日の22日は、昭和58年度補正予算等に対する予算特別委員長報告及び各付託案件に対する各委員長報告の後、討論、採決の結果いずれも原案可決又は承認議決。

次に、教育委員会委員等の人事案件等4件が追加提案され、知事から説明の後、いずれも同意議決又は原案可決。次に、「泰東丸の確認調査と遺骨収集に関する要望意見案」ほか4件の意見案を原案のとおり可決の後、陳情2件を委員会決定のとおり採択。次に、閉会中請願・陳情継続審査及び事務調査の件を決定し、今期定例会に付議された案件はすべて議了。議長から閉会のあいさつがあって、開会以来25日目の10月22日午後7時46分閉会。

- ⑤ 提出案件の処理状況は、次はとおりである。

提出者	提出案件	処理の状況						計
		原案可決	承認議決	意見を付し認定議決	認定議決	同意議決	報告のみ	
知事	32	25	1	(3)	(4)	3	3	32(7)
議員	8	8	—	—	—	—	—	8
計	40	33	1	(3)	(4)	3	3	40(7)

注 かっこ内は、継続審査案件に係る議決件数を示し、外数である。

本会議

○9月28日(水) 午前10時20分開議、三上勇議長、昭和58年第3回定例会の開会を宣し、引き続き、

日程第1 会議録署名議員の指定を行い、諸般の報告の後、議長から、元議員渡部勇雄氏(8月8日)、尾崎勇氏(9月14日)及び奈良敬藏氏(9月21日)の逝去について弔意を表した旨報告。

日程第2 会期決定の件を議題とし、今期定例会の会期を本日から10月21日までの24日間と決定。次に、

日程第3 常任委員の委員会所属変更の件を議題とし、中崎昭一議員(自民)を厚生委員から水産委員に、佐藤静雄議員(自民)を水産委員から厚生委員に所属変更することについてはかり異議なく決定。

日程第4 特別委員補欠選任の件を議題とし、 笹浪幸男議員(自民)を総合開発調査特別委員に、 武部勤議員(自民)を石炭対策特別委員に補欠選任することについてはかり、異議なく決定。

日程第5 議案第1号ないし第24号及び報告第1号を議題とし、知事から昭和58年冷害及び大雨災害等に関する概要報告並びに提出案件に關し説明。次に、

日程第6 前会より継続審査の報告第26号ないし第32号を議題とし、宇川源吉企業会計決算特別委員長(自民)から、委員会における審査の経過と結果について報告の後、討論に入り、大橋晃議員(共産)から、反対討論があつて討論終結後採決に入り、まず、日程第6のうち報告第29号ないし第32号を問題とし、起立採択の結果、起立多数(共産反対)をもつて報告第29号ないし第31号は認定議決、報告第32号は意見を付し認定議決。次に、日程第6のうち報告第26号ないし第28号を問題とし、異議なく報告第26号及び第28号は意見を付し認定議決、報告第27号は認定議決。次に、

日程第7 意見案第1号を議題とし、平野明彦議員(自民)から提案説明の後、委員会付託を省略の上、異議なく原案のとおり可決。次

に、

日程第8 意見案第2号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略の上、異議なく原案のとおり可決。

次いで、議案調査のため9月29日から10月3日まで休会することに決定して、午前10時56分散会。

企業会計決算特別委員長報告

ただいま議題となりました前会より継続審査の昭和57年度北海道各事業会計決算にかかる報告第26号ないし第32号の7件につき、その審査経過と結果について御報告申し上げます。御承知のとおり、本委員会は、第2回定例会の7月20日に設置され、直ちに正、副委員長の互選を行うとともに、委員会運営の方法などを決定し、その後、7月25日の委員会において理事者から決算概要について、監査委員から決算審査意見について、それぞれ説明を聴取し、閉会中継続審査に付するとともに、8月11日、12日の両日には、関係事業について現地視察を行い、さらにまた、審査に必要な41項目の資料の提出を受け、決算内容等の調査を行ったところであります。

次いで、8月19日から関係各部局所管の審査に入り、8月26日をもって一切の質疑を終了した次第であります。

以下、関係部局所管ごとの質疑を通じ、論議の対象となりました主な事項を申し上げますと、林務部所管においては、

道有林野事業に關し、道有林管理面積減少の要因と林業振興地域指定に対する考え方、保安林の現状と機能整備の取り組み姿勢、木材需要量の推移と価格動向に対する見解及び道有林基本計画との関連、造林実績の減少理由と今後の対処策、林道の現況と森林施業との関連、林産物販売及び造林請負事業における契約方法。

道有林の經營に關し、經營の現状認識と将来展望、道有林基本計画の見直しに対する考え方、市町村交付金及び繰出金に対する考え方、組織機構の見直しと職員の待遇改善に対する考え方、森林の公益的機能の強化対策と広葉樹資源培養についての今後の取り組み。

などに關する問題。

企業局所管においては、

支笏湖畔有料道路事業に関し、建設の経緯とその役割り及び無料開放の見通し。

工業用水道事業に関し、給水能力と契約水量の実態及び料金体系見直しの考え方、苫小牧地区第一及び第二工業用水道事業の配水管路の一元化と水道料金平準化の考え方、苫小牧東部地区第一工業用水道事業の経過及び沙流川総合開発事業との関連並びに今後の具体的対応策。

などに関する問題。

衛生部所管においては、

道立病院事業の運営に関し、道立病院の現状と再編整備計画に基づく今後の具体的対応策、苫小牧病院の今後の位置づけ及び北野病院の職業病検診機能の整備、道立病院事業会計の赤字発生の原因と累積赤字の解消策、道立病院管理機能の強化と医師確保対策に対する積極的な取り組み姿勢。

などに関する問題。

住宅都市部所管においては、

北広島団地開発事業に関し、宅地処分遅延の原因とその対策、住宅及び宅地の需要状況と処分価格の上昇に対する抑制策、宅地処分計画等の見直しに伴う宅地処分の抜本的方策と一般会計への移譲に対する見解及び広島町との負担協定内容の変更等を含めた今後の対応策。

などに関する諸問題について、各般にわたり活発な論議が交わされた次第であります。

質疑終結後、各派代表者間において意見の調整を図りました結果、8月27日の委員会において、全会一致、報告第27号及び第29号ないし第31号は、認定議決、報告第26号、第28号及び第32号については、次に申し上げる意見、すなわち、報告第26号については、

1. 地域の医療需要にこたえるために、医師の確保定着などに努めるとともに、施設の効率的運用を図り、経営の健全化に努めるべきである。

報告第28号については、

1. 宅地分譲に当たっては、処分方法に検討を加え、早期処分に努めるべきである。

報告第32号については、

1. 苫小牧東部地区住宅用地の早期処分について一層努力すべきである。

以上の意見を付し認定すべきものと決定した次第

であります。

この間、委員各位には、終始、慎重かつ御熱心に審議を尽くされ、その御苦勞に対し、衷心より敬意を表する次第であります。

これをもって、私の報告を終わります。

○10月4日（火） 午前10時20分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第24号及び報告第1号を議題とし、代表質問に入り、

関根 建二議員（社会）から、

- (1) 当面する道政上の諸問題に関し、大韓航空機墜落事件に関し、自治体外交の一層の展開についての所信、日米共同実動訓練に対する道民生活の安全を守る立場での所信、外国訪問にあたり、韓国漁船問題での訪韓における成果及び日朝漁業協定の早期締結のための訪朝並びに訪欧ミッションのねらいと目的についての見解、本道経済発展のための民間大資本との提携についての所信、本道と大洗港を結ぶフェリー航路開設問題についての道の意見と今後の対処、地方交通線対策にあたり、第2次廃止対象路線凍結方針の現状、協議会で協議中の7線の動向、地方交通線対策調査費計上の意図及び新線未完成の場合の第三セクター問題の見解、森林開発公団営大規模林道事業の環境影響に対する配慮についての見解
- (2) 冷害対策に関し、被害農家を救済する金融対策、共済制度による適正な補てん、既往貸付金の大幅な条件緩和、飼料確保対策及び異常気象対策についての見解
- (3) 登別地区の集中豪雨被害対策に関し、大雨災害の原因想定及び災害多発予想地区に対する治山治水等の防災対策についての見解
- (4) 道開発問題に関し、本道経済と国の経済長期計画とのかかわりについての見解、三全総のフォローアップの報告と北海道の将来についてのかかわりについての所見、発展計画点検結果の掌握と道民意向の把握及び新計画策定の時期と対応についての所見
- (5) 経済、財政問題に関し、当面する景気対策と中小企業の金融対策、景気変動に強い北海道経済産業の体質づくりについての見解、本年度の財政見通し、道税収入の見通し、地方

債確保の見通し及び公債費の増高と明年度の財政運営についての基本的な考え方

- ⑥ 都市問題に関し、政令指定都市札幌市との行政機能の分担と連携、道央の総合交通施策、市街化区域の見直しに対する今後の方針と未利用地の利用、家族構成の変化に応じた住戸改善、中高層分譲共同住宅の管理運営のあり方等についての所見
- ⑦ 道民生活に係る諸問題に関し、ボランティア活動の周知とシステム化についての所見、有料カーボランティアの取り組み、介護サービスの機能化と訪問指導のための保健婦の確保についての見解、合成洗剤についての基本的な認識と人体への影響や食品衛生上の対応、水質汚濁などに対する調査方法の確立についての所見、白糠町へのPCB処理研究施設の進出についての掌握と情報等の提供についての所見

- ⑧ 教育問題に関し、高等教育機関の誘致計画と段階的拡充整備の方針、道立高等学校の授業料等の改定についての所信

- ⑨ 交通安全対策及び公安行政に関し、交通安全施設の整備拡充、交通安全に対する広報活動、学校における交通安全教育の重点と学校向け交通安全テキストの活用状況、交通取り締まりのあり方、交通規制の見直しの所見等について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。次に、

佐々木 利昭議員（自民）から、

- ① 知事の政治姿勢に関し、大韓航空機墜事件の受けとめと道民の安全確保、自衛隊及び日米安保条約の対処、日米合同実動演習に対する反対行動と自衛隊に対する協力についての見解、護国神社参拝と他の宗教法人の行事への参加、創価学会主催の平和文化祭への知事出席と道幹部職員出席について政教分離の趣旨からの見解、行政改革実施大綱に基づく出先機関の再編整備の早期実施についての考え方、本庁機構の見直しの取組みとその視点、新規行政需要と行政改革に臨む基本姿勢、見直しを急ぐ理由、企業誘致の外遊の決定と懸案事項の対処、訪欧の意図、内容、成果についての考え、苫小牧市長選挙応援での本道と

大洗間のフェリー航路の開設、十勝管内での日高横断道の着工及び桧山のふるさと訪問での知事発言について道議会に対する基本姿勢

- ② 開発予算問題に関し、苫小牧東部大規模基地などの総合的開発事業の今後の進め方、苫東開発の基本理念、本道開発に対する基本的認識
- ③ 景気対策に関し、本道の景気動向についての認識、道民の不況の影響の実態と今後の対応策、景気対策予算の執行、中小企業金融対策についての基本的な所見
- ④ 異常気象による農業被害対策に関し、本道農業振興上の問題点と冷害の克服策、共済制度の適切な運用や金融対策、飼料確保対策など当面の緊急対策
- ⑤ 北炭夕張問題に関し、産炭地域振興関係各省庁等連絡会で取りまとめられた内容と道の検討経緯、離職者対策、中小商工業者対策などの措置状況と成果、今後の振興対策、産炭地市町村特別対策資金貸付金の目的についての所見、幌内炭鉱の経営状況と道内各炭鉱の経営状況及び将来展望
- ⑥ 道政上の諸問題に関し、国鉄特定地方交通線第1次線問題と地方交通線対策調査についての方針、貿易の自由化と本道農業の振興策、第三期水田再編対策に係る減反割当、てん菜の転作奨励金削減に対する所見、北海道農業発展方策についての答申に係る指針策定の進め方及び道の役割りの具体化についての考え方
- ⑦ 漁業問題に関し、大韓航空機事件による日ソ、ソ日漁業暫定協定の今後の対応策、日ソ漁業交渉に向けての漁獲割り当て量の確保、操業水域の確保などについての決意、貝殻島昆布協定の締結についての所見と今後の取り組み、日朝民間漁業協定の対処方針、韓国漁船問題での訪韓にあたって韓国政府に対する要求内容、今後の見通し
- ⑧ 中小企業対策に関し、中小企業を取りまく経営環境などの現状認識と所信、中小企業の金融対策
- ⑨ 福祉問題に関し、在宅福祉対策事業の拡大、在宅福祉充実への姿勢
- ⑩ 交通安全対策に関し、交通事故の実情認識

と長期計画策定についての所見、本道における交通事故の実態、傾向、問題点、長期計画策定への参画についての所見

⑪ 教育問題に関し、教育長と北教組との間に結ばれた協定書で協定されている教員の服務、超勤命令、校長の職務権限である学校の管理運営事項などの取り決めを破棄することについての所信、障害者教育にかかるわる職員等に対する処遇の改善についての見通し等について

質問があり、知事、教育委員長、教育長、警察本部長から答弁。高橋康之議員（自民）から議事進行発言があり、議事進行の都合により、午後4時21分休憩、午後5時8分再開し、午後5時9分延会。

○10月5日（水） 午後4時49分開議、諸般の報告の後、本日の会議は、日程を延期し延会することに決定して午後4時50分延会。

○10月6日（木） 午後4時42分開議、諸般の報告の後、本日の会議は日程を延期し延会することに決定して、午後4時43分延会。

○10月7日（金） 午後4時42分開議、諸般の報告の後、本日の会議は、日程を延期し延会することに決定して午後4時43分延会。

○10月8日（土） 午後零時16分開議、諸般の報告の後、本日の本会議は、日程を延期し延会することに決定して午後零時17分延会。

○10月11日（火） 午前10時17分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第15号、第17号ないし第24号及び報告第1号を議題とし、代表質問を継続、知事から10月4日の本会議における佐々木利昭議員（自民）の質問に対する補足答弁の後、佐々木議員から再質問があり、知事から答弁。議事進行の都合により、日程第1の議事を中止し、決議案第1号を議題とすることを異議なく決定の後、

追加日程 決議案第1号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略の上、異議なく原

案のとおり可決。次いで、議長指名により、配付名簿のとおり冷害対策特別委員を選任。

○冷害対策特別委員（27人）

遠藤 常二（社会）	相沢 武彦（公明）
大野 新生（道政）	大野 忠義（自民）
平井 進（自民）	増井貞一郎（自民）
伊藤 武一（公明）	大島 一郎（社会）
高橋 庸（社会）	三沢 道男（社会）
神本 三也（社会）	中川 隆之（道政）
青山 章（自民）	小田部善治（自民）
佐々木行雄（自民）	高橋 康之（自民）
中川 義雄（自民）	松崎 義雄（自民）
石山 直行（自民）	寺崎 政朝（自民）
吉野 之雄（社会）	渋谷 澄夫（社会）
藤井 虎雄（社会）	古川 靖晃（自民）
大平 秀雄（自民）	水沼徳一郎（自民）
作田 政次（自民）	

次に、

日程第1の議事を継続し、代表質問を継続、

浅野 俊一議員（公明）から、

- ① 知事の政治姿勢に関し、公約実現に対する基本的な考え方、古い北海道の経済体質という公約上の理念、機構改革に対する取り組み方、「一村一品運動」の基本方針と運動の進め方、「バイ・ホッカイドウ運動」の基本的な方向と具体的な展開策
- ② 障害者福祉対策に関し、北海道行動計画と福祉マンパワーの推進についての見解、ノーマライゼーション普及の具体的方策、ミニ通勤寮・生活寮などの施設整備に対する検討経過、精神薄弱者職場適応奉仕員設置モデル事業の実施効果などに対する所見
- ③ 教育問題に関し、学校教育と学習塾の係りに対する認識、小・中学生の塾やけいこととの実態と家庭教師についている者の実態、学校教育の在るべき姿と塾との係わり
- ④ 治安対策に関し、本道における治安情勢に対する認識と基本的所見、悪質・巧妙化する犯罪に対する対策、経験豊富な警察職員の大規模退職に対する捜査力向上対策について質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。浅野俊一議員（公明）から再質問があり、知事及び教育長から答弁があって、午後零時19分休憩、午後1時49分再開。

中川 隆之議員（政道）から、

- ① 漁業問題に関し、韓国漁船問題で訪韓した際の手ごたえ、道の取り組み状況と今後の考え方、日朝漁業問題における北朝鮮海域での漁業水域の確保に対する見解、漁船漁業の再編整備に対する漁業者との対応状況と今後の見通し、沿岸漁業振興のため底びき網漁業の禁止区域を見直す考え、サクラマスふ化事業の進展状況と今後の増殖事業の推進方法
- ② 泊原子力発電所の問題に関し、建設に当たっての安全性に対する考え方、第2次公開ヒアリングの開催時期、本体工事の着工時期の見通し、第2次公開ヒアリングのあり方、地域振興計画の事業内容と地元の意向の反映方法、防災計画の策定時期と防災の範囲及び避難路等の考え方
- ③ 石炭問題に関し、北炭夕張新炭鉱の下請債権解決のため通産省・管財人に働きかける考え方、夕張地域と周辺地域等を結ぶ道路網の整備についての基本的な考え方と今後の見通し、幌内炭鉱の経営の現状と指導の状況及び将来の見通し
- ④ 知事の教育に対する姿勢に関し、教育問題について大いに議論をする姿勢、調和ある教育と知・体・徳の教育との係わりに対する見解、教育関係諸法規を遵守する考え方等について

質問があり、知事から答弁の後、中川隆之議員（政道）から再質問があつて、知事から答弁。次いで、

綿貫 健輔議員（自民）から、

- ① 行政改革に関し、民間人による行政調査会的組織の設置に対する所見、本庁・支庁機構とその性格づけに対する見解、事務事業の民間委託についての所見、行革に臨む基本姿勢
- ② 道職員の給与の適正化に関し、わたり運用措置に対する見解と制度上の措置理由、主任制度の今後のあり方、地方自治体の給与の適正化についての自治省通達に対する道の措置状況と市町村に対する指導状況
- ③ 職員団体の登録問題に関し、資格要件を欠いた登録に係わる自治労全道庁への指導状況とその結果、指導後の道職員以外の全道庁への加入実態、登録要件適合への是正が遅れている理由と是正の時期

④ 小売商業対策に関し、小売商業の現状認識、中小規模小売店振興の構想とこれまでの施策との相違点及び具体化の時期、庁内の執行体制のあり方

⑤ サラリーマン金融対策に関し、道内における貸金業の届け出の実態と業者及び利用者に対する指導状況、貸金業2法（貸金業規制法・改正出資法）の主な内容と効果、法の施行に伴う道の対応策と執行体制の整備に対する考え方

⑥ 泊原子力発電所の建設に関し、第2次公開ヒアリング開催の方式と開催地に対する考え方、公開ヒアリング開催に対する理解と協力を関係者に求める考え方の有無等について質問があり、知事及び人事委員長から答弁。綿貫健輔議員（自民）から再質問があり、知事から答弁。次いで、

遠藤 常二議員（社会）から、

- ① 海洋開発計画の推進に関し、海洋開発の基本構想等の考え方、海洋開発の基本構想推進のため新たに組織を設置する考え方、留萌市のマリンポリス構想に対する支援の考え方
- ② 泰東丸の引揚に関し、泰東丸確認調査に係る厚生省の対応、調査・遺骨収集の早期実施に対する対処
- ③ 職業教育に関し、時代の進展や産業構造・就業構造の変化に対応するための検討状況、職業教育の内容や方法の改善策、職業教育に係わる教職員の研修状況及び先端技術との関連、職業学科の生徒の進路意識と進路状況、専修学校の役割り等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。午後4時延会。

○10月12日（水） 午前10時31分開議、諸般の報告の後、議長から、元道議会議員田中正苗氏の逝去（10月8日）について弔意を表した旨報告。次に、

日程第1 議案第1号ないし第15号、第17号ないし第24号及び報告第1号を議題とし、一般質問を継続、

神戸 典臣議員（自民）から、

- ① 労働行政に関し、季節労働者対策の構想・具体化の時期・従来の施策との相違など具体

的考え方、未組織労働者の組織化と労働相談についての現状認識、労働相談の果すべき役割り、季節労働者福祉資金の貸付制度創設の必要性、融資枠設定の根拠、融資の条件、借入手続、ME（マイクロ・エレクトロニクス）導入による雇用問題についての認識と道としての取り組み方、中学・高校新規学卒者の就職対策の所見と決意

② 土木行政に関し、中小建設業者の経営体質の改善・合理化の実態とこれまでの対策及び成果、元請・下請の合理化に対する指導状況とその成果、中小建設業者の受注機会の確保のための対策状況と今後の考え、市長村長に市町村発注工事を地元業者に受注させる機会をより一層与えるよう働きかける考え方、官公需適格組合の育成における最近の建設関係の発注状況と今後の受注機会の拡大策、工事の通年化に対する検討内容と成果及び今後の方針

③ 低気圧による大雨災害復旧対策に関し、被害市町に対する財政援助策、洞爺湖登別線など公共土木災害の復旧計画の概要及びその見通し、河川災害の復旧計画と防止対策、災害復旧のための治山事業の早期着工の必要性と見通し、被災商工業者に対する金融対策の状況と今後の考え方

④ 苦東石油備蓄基地の建設に関し、通産省における検討経過と今後の方向及び見通し等について

質問があり、知事から答弁。神戸典臣議員（自民）から再質問、知事から答弁の後、神戸議員から再質問。知事から答弁準備に時間を要する旨発言があって、議事進行の都合により午前11時49分休憩、午後4時1分再開。知事から休憩前の神戸議員の質問に対する答弁があって、会議規則第57条ただし書きの規定による発言許可の後、神戸議員から質問があり、知事から答弁。次いで、

大島 一郎議員（社会） から、

① 視力障害者問題に関し、はり・きゅう・マッサージ等の施術所を国保の保健施設として指定する考え方、特殊浴場におけるマッサージ行為のための施術所・有資格者等法の基準と現状に対する見解、晴眼者の従事状況及び有資格者の占める割合などの実態と指導の方法
② 水質保全対策に関し、都市内中小河川の水

質の実態と水質改善の取り組み方、湖沼の水質保全対策の状況と今後の考え方、湖沼水質保全特別措置法案制定に対する所見、地下水汚染対策における国の調査結果の概要及び札幌市のデータと全国との比較結果並びに道の今後の対処方

③ 臨空型工業の誘致に関し、道内各地域の臨空港工業団地に対する取り組み方、企業誘致の方策、オホーツク海沿岸地域の臨空型工業振興に対する見解等について
質問があり、知事から答弁。次いで、

高木 繁光議員（自民） から、

○ 知事の政治姿勢に関し、大韓航空機事件に関する防衛問題の所見、大韓航空機事件で道がとった措置と関係市町村等への今後の対応、捜索体制とその実施状況、遺品等の種類と遺族の照合状況、遺品等の取り扱い状況、今後の対策方針、知事の政治信条、道政推進に当たっての防衛・平和外交問題等の所見、憲法と自衛隊の関係に対する見解、自衛権及び非武装中立に対する考え方、現実に即した平和の考え方等について

質問があり、知事及び警察本部長から答弁。高木繁光議員（自民）から再質問があり、知事から答弁の後、高木議員から再質問、知事から答弁があって、午後5時37分延会。

○10月13日（木） 午前10時26分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第15号、第17号ないし第24号及び報告第1号 を議題とし、一般質問を継続、

柏倉 勝雄議員（社会） から、

① 国鉄貨物合理化問題に関し、本道の特殊性を配慮した貨物取扱駅の復活・計画見直しを国に要請する考え方、本道の開発における国鉄貨物輸送の位置づけと関係諸団体との連携をとった対策の必要性、
② 身体障害者対策に関し、身体障害者自動車改善費補助事業の助成額の引上げに対する見解、自動車税及び自動車取得税の免税対象者を拡大する考え方、身体障害者雇用未達成企業に対する指導と地方公共団体における身障者雇用の促進策

③ 地域振興対策に関し、女満別空港のジェット化に伴う地域振興の具体策等について質問があり、知事から答弁。次に、

木戸浦 隆一議員（自民） から、

- ① 道開発予算に関し、本道の基盤整備の立ち遅れと公共投資の重要性、59年度開発予算に向けての知事の所見
- ② 函館市の国際観光都市化に関し、函館空港の国際化に対する取り組み、国際会議場の建設構想の内容、東北新幹線の函館における着手に対する所見
- ③ テクノポリス建設構想に関し、函館地域の指定の見通し、函館地域への企業誘致に対する取り組み、道立水産試験場の拡充、国際海洋大学の誘致等について

質問があり、知事から答弁、木戸浦隆一議員（自民）から再質問、知事から答弁、木戸浦議員から再質問、知事から答弁があって議事進行の都合により午前11時56分休憩、午後1時25分再開。引き続き、

西村 慎一議員（道政） から、

- ① 知事の政治姿勢に関し、四全総に道の意向を反映させる方途、事務・事業、補助金等の見直しを含む行政改革への取り組みの考え方
- ② 景気対策等に関し、本道の景気動向と今後の対処策、商工観光行政の拡充と体制強化に対する見解
- ③ 先発後進地域対策と日本海地域の海洋開発に関し、歴史的建造物・文化遺産を活用した地域振興策、道と市町村間の職員の交流、公共施設の地方分散と交通施設の整備に対する見解、石狩湾新港の建設と小樽市の振興策、海洋開発センター建設等日本海地域の海洋開発に対する取り組み
- ④ 高齢者の生きがい対策に関し、生きがい村建設に対する所見
- ⑤ 教育問題に関し、教育の現状に対する知事の認識等について

質問があり、知事から答弁。次に、

山口 真人議員（自民） から、

- ① 石狩湾新港設計計画に関し、港湾運送事業法による港域指定にあたって小樽港を含めるよう国に要請する考え、小型船だまりの建設構想と市場開設についての検討状況
- ② 水産問題に関し、ヒラメの中間育成施設の

整備に対する今後の取り組み

③ 行政改革に伴う福祉施設の存廃に関し、心障者総合相談所の設置に係る道教委との密接な連携の必要性、精薄者更生施設和光学園の民間移管の目途、道立小児保健センターの専門医の充足・医療機器の整備に対する取り組み状況、センターの利用状況と今後の周知方法、

④ 教育問題に関し、公教育のあり方に対する知事の所見、56年5月における小樽市の教育の現状に関する衆院議員当時の発言の根拠、道内における教育課程の編成の実態と道德教育の実施状況、小学校における平和教育のあり方に対する所見及び教材使用に対する見解、組合活動参加のための一斉年次休暇と学校運営上の問題点、道内における主任の命課状況と業務実績、教務主任の研修参加状況及び今後の研修計画の有無

⑤ 交通規制のあり方に関し、交通事情の変化に対応した交通規制の見直しの必要性、規制実施について関係住民、団体に対する事前説明等を行うことに対する見解等について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁、山口真人議員（自民）から再質問、知事から答弁、山口議員から再質問、知事から答弁、会議規則第57条ただし書の規定による発言許可の後、山口議員から質問、知事から答弁。次に、

菊地 芳郎議員（社会） から、

- ① 観光行政及び都市再開発に関し、小樽博覽会の開催に対する基本的な考え方と具体的な取り組み、小樽運河の保存に係る市民運動に対する受けとめ方
- ② 教育問題に関し、公立高校入学者選抜方法について、都市部での総合選抜制導入の検討状況と今後の見通し、学区外就学率縮小による遠距離通学の解消、普通科間口の増、職業科の推薦入学制度の適切な運用に対する見解、外国人国籍の教員登録及び採用に対する見解等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。次に、

橋 浪蔵議員（自民） から、

- ① 本道の経済の発展、交通体系の整備に関し、物資流通対策の改善と北海道価格の解消に対する取り組み、一村一品運動の展開と輸送交通体系の整備の必要性、本道の物流の経

路と苫小牧港の役割り及び優位性に対する見解

- ② 本道と大洗港の航路開設問題及び知事の政治姿勢に関し、地方選挙応援時におけるフェリー航路問題に関する発言の真意、地元及び関係者の意向把握と対応のあり方、苫小牧第3号フェリーバースの取り扱いに対する見解、道の長距離カーフェリーに関する実情調査の内容、室蘭港を優先する根拠とその妥当性等について

質問があり、知事から答弁。橋浪蔵議員（自民）から再質問があり、知事から答弁準備のため時間を要する旨発言があり、午後4時57分延会。

○10月14日（金） 午後1時27分開議、諸般の報告の後、

- 日程第1 議案第1号ないし第15号、第17号ないし第24号及び報告第1号を議題とし、一般質問を継続、知事から昨日の本会議における橋浪蔵議員（自民）の再質問に対する答弁の後、橋議員から要望。次に、

酒井 芳秀議員（自民）から、

- ① 林業行政に関し、林道整備の現状認識、59年度の林道関係国費予算の見通しと取り組みの姿勢及び今後の方策、大規模林業圈開発計画と大規模林道平取・えりも線の開設計画に対する認識、平取・えりも線の林道計画とこれまでの経緯及び今後のスケジュール、森林開発公団法に基づく利害関係人からの意見聴取の結果、森林開発公団法に基づく協議に対する取り組み
- ② 水産問題に関し、秋サケの消費拡大対策と成果並びに道外における宣伝活動の推進策、秋サケ消費の少ない関西以西の地域に対する消費拡大の取り組み、サケ・マス資源の保護のため保護水面の新規指定など体制強化の必要性、遊漁者等と調和のとれた保護水面の管理対策
- ③ 畜産行政に関し、市町村サミット等の関係者からの要望を踏まえた軽種馬振興と競馬に対する所見、道営競馬事業の成績不振の原因と今後の対策、門別軽種馬トレーニングセンターに係る第2期工事の計画と完成年度、道営競馬出走馬の薬物検出に係る道の調査結果

と所見並びに警察の捜査経過等について質問があり、知事及び警察本部長から答弁。酒井芳秀議員（自民）から再質問があり、知事から答弁の後、酒井議員から再質問があつて、知事から答弁。次に、

古川 靖晃議員（自民）から、

- 農業問題に関し、借入金償還猶予措置を活用した冷害農家救済対策の農協への指導の取り組み、制度資金ばかりではなく農協系資金等の償還猶予推進の見解、冷害対策に関連し畠地帯の農業基盤整備を推進する考え、配合飼料の安定供給・価格の見通し並びに価格安定に対する取り組み、農業発展方策案における地域別の生産目標策定の考え方、バイオテクノロジーなど先端技術を活用した農業技術の推進、食品加工の研究機関のあり方の早急な検討方、酪農経営における投資節減の必要性、カラマツ材の農業用施設への利用に対する取り組み状況と今後の普及対策等について質問があり、知事から答弁。古川靖晃議員（自民）から再質問があり、知事から答弁。次に、

久田 恭弘議員（自民）から、

- ① 住宅建設計画に関し、知事の公約と第4期5箇年計画を変更する考え及びその必要性と構想
- ② ケアつき住宅の建設に関し、北海道地方心身障害者対策協議会等からの意見書に対する見解、ケアつき住宅建設のための立法措置を国に要請する考え方並びに道単独事業で実施する考え方の有無
- ③ 道営住宅管理問題に関し、道営住宅の家賃改定に対する今後の対処方針、家賃減免基準を見直す考え、政策家賃の導入を検討する必要性、道営住宅の管理体制の整備に対する所見
- ④ 北海道住宅供給公社問題に関し、公社の存在に対する認識と評価、新たな事業推進のための資金など援助の考え方、公社の経営改善と合理化に対する実施状況と今後の方針
- ⑤ 都市計画及び小樽運河問題に関し、都市計画に係わる公約の事業の構想と具体化の時期、都市計画区域の指定状況と今後の取り組み、小樽臨港線建設計画見直しの論議に対する真偽、地元関係者に対し計画推進のため理

解と協力を求める考え方、小樽臨港線事業及び港湾公害防止対策事業の道民への周知と理解を得る必要性及びその所見等について

質問があり、知事から答弁。久田恭弘議員（自民）から再質問があり、知事から答弁の後、久田議員から再質問があり、知事から答弁。議事進行の都合により、午後4時1分休憩、午後4時17分再開。次いで、

大野 新生議員（道政）から、

- ① 農業問題に関し、本道農業の振興に対する基本姿勢、道産米の品質向上の見通しと需要拡大の方針、肉用牛生産振興対策と牛肉流通対策、農地流動化の今後の進め方と農地等取得資金の融資枠確保の見通し、果樹共済の加入促進策
- ② 空知中核工業団地に関し、工業団地の整備の進捗状況と公募開始の時期、団地に導入する業種を拡大する見解、分譲価格の見通し、道内地場企業の誘致促進策、誘致した企業の工場閉鎖などの主な原因と今後の対策
- ③ 国鉄貨物駅廃止に関し、貨物取扱駅の縮小に対する受けとめ方、地域に及ぼす影響、国鉄に対する対処、明年2月に向けての国鉄旅客駅の無人化に対する対処方
- ④ 「一村一品運動」に関し、運動の内容と構想を具体的な政策として打ち出す時期、運動を進める手順等について

質問があり、あらかじめ会議時間を延長のうえ知事から答弁。次に、

吉川 貴盛議員（自民）から、

- ① 知事の政治姿勢に関し、景気対策に対する予算計上の経過、予算編成作業の検討指示の経緯
- ② 教育問題に関し、協定書に係わる通達が出されたことによる協定書の条項運用の具体的な改善状況、教育現場の切実な痛みに対する受けとめ、協定書が学校現場に与える影響と混乱に対する見解、通達に係わる学校現場での具体的な運営上の問題、長期休業日の校外研修の効果、各種研修会等への参加の取り扱い、協定書第11項の解釈と運用、教頭昇任の選考要領改定時に組合員等と交渉することに対する見解、校長が学校運営上の問題決定に当たって事前に組合分会と協議している事態並びに学校運営において組合員の了解を得なけれ

ばならない実態に対する見解、通常の勤務日における外勤の運用実態、組合活動による学校現場の混乱状況等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。吉川貴盛議員（自民）から再質問があり、教育長から答弁準備に時間要する旨発言があって、議事進行の都合により午後5時37分休憩、午後5時40分再開し直ちに延会。

○10月15日（土） 午後零時43分、諸般の報告の後、本日の本会議は、日程を延期し延会することに決定して午後零時44分延会。

○10月17日（月） 午後零時開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第15号、第17号ないし第24号及び報告第1号を議題とし、一般質問を継続、教育長から10月14日の本会議における吉川貴盛議員（自民）の再質問に対する補足答弁の後、吉川議員から再再質問があり、教育長から答弁。午後零時27分休憩、午後1時49分再開し、次に、

柳谷 正一議員（公明）から、

- ① 福祉医療対策に関し、成人病予防策の重要性に対する認識と今後の取り組み、がん検診の受診率向上に対する取り組み方、婦人科がん検診体制整備の推進策、肺がんの集団検診対策への今後の取り組み、老人福祉対策についての基本的考え方、痴呆性老人対策に係る実態調査の進め方、相談体制の整備に対する考え方、痴呆性老人の介護読本等作成の考え方、痴呆性老人専門の施設整備についての見解
- ② 交通対策に関し、道内地方空港の整備状況と今後の方針、新千歳空港の進捗状況と開港の見通し、函館空港の国際化に向けての整備の必要性、青函トンネル開業後も連絡船を存続する考え方、青函連絡船の第3セクター方式による存続に対する内容承認の有無と見解
- ③ 教育行政に関し、生徒指導に係わって校内暴力など問題を抱える中学校に対する指導援助の状況、中学校における出席停止などの状況と今後改善する意向、高校における処分の学校間の差に対する指導の必要性、停学や出席停止による学業のおくれに対する学校の指導のあり方等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。柳谷正一議員（公明）から再質問があり、知事から答弁。次に、

日程第1にあわせ

日程第2 議案第16号を一括議題とし、一般質問を継続、

大橋 晃議員（共産）から、

- ① 知事の政治姿勢に関し、日米共同訓練が北海道とその周辺に与える軍事緊張についての考え方、非核北海道宣言を行う考え、原爆死没者追悼会に出席しなかった理由、トンネルの欠陥工事を請負った業者を処分していない理由
- ② 道民生活に関する問題に関し、臨調・行革に関連した概算要求に係る道民への影響、防衛費や教育・福祉などの予算の配分に対し政府に要請する考え方、稲作農家の負債対策を国へ働きかける考え方、地元期成会提案の第3セクターによる鉄道経営構想に対する道の見解及び国鉄と運輸省の見解
- ③ 開発問題に関し、日高大規模林道開設に伴う経済的効果、木材関連産業と林業労働の動向及び地域振興に対する見解等について

質問があり、知事から答弁の後、大橋晃議員（共産）から再質問があり、知事から答弁。大橋議員から再質問があり、知事から答弁の後、会議規則第57条ただし書きの規定による発言許可の後、大橋議員から質問があり、知事から答弁があつて、質疑並びに質問を終結。次いで、

中川隆之議員（道政）から、予算に関する案件について、31人の委員をもって構成する予算特別委員会を設置し、議案第1号ないし第4号を付託されたい旨の動議を提出、賛成があつて動議成立、動議に係る案件は予算特別委員会に付託の上、次の委員（配付名簿のとおり）を議長指名により選任。次いで、残余の案件について議案付託一覧表のとおり、それぞれ所管の常任委員会に付託した。

○予算特別委員（31人）

大内 良一（社会）	大野 新生（道政）
神戸 典臣（自民）	木戸浦隆一（自民）
操上 良宏（自民）	酒井 芳秀（自民）
出村 勝彦（自民）	綿貫 健輔（自民）
伊藤 武一（公明）	大平 盛雄（社会）
菊地 芳郎（社会）	高橋 庸（社会）
谷川 英雅（社会）	一野坪 勉（社会）

小田原要四藏（社会）	工藤 啓二（公明）
中川 隆之（道政）	岩本 允（自民）
木本 由孝（自民）	佐々木行雄（自民）
土屋 良三（自民）	橋 浪蔵（自民）
山口 真人（自民）	伊藤 豪（自民）
寺崎 政朝（自民）	長岡 寅雄（社会）
萩上 元春（社会）	吉田 英治（社会）
野村 権作（自民）	和田 勝之（自民）
宇野 真平（自民）	

次に、各委員会付託議案審査のため、10月18日から10月20日まで休会することに決定して、午後3時46分散会。

○10月21日（金） 午後4時32分開議、諸般の報告の後、

日程第1 会期延長の件を議題とし、会期を10月22日まで1日間延長することをはかり、異議なく決定し、午後4時34分散会。

○10月22日（土） 午後3時41分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第24号及び報告第1号を議題とし、和田勝之予算特別委員長（自民）から議案第1号ないし第4号について、古川靖晃建設委員長（自民）から議案第5号、第11号及び第22号について、中崎昭一水産委員長（自民）から議案第6号、第12号及び第13号について、星野健三厚生委員長（社会）から議案第7号について、寺崎政朝農務委員長（自民）から議案第8号について、川口常人総務委員長（自民）から議案第9号、第10号、第15号ないし第21号及び第24号について、萩上元春文教林務副委員長（社会）から議案第14号、第23号及び報告第1号について、それぞれ委員会における審査の経過と結果について報告の後、討論に入り、大橋晃議員（共産）から議案第1号、第4号、第5号、第9号ないし第14号、第16号に関する反対討論があつて討論終結。

次いで、採決に入り、まず、日程第1のうち議案第1号、第4号、第5号、第9号ないし第14号及び第16号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって委員長報告のとおり原案可決。

次に、日程第1のうち、議案第2号、第3号、

第6号ないし第8号、第15号、第17号ないし第24号及び報告第1号を問題とし、異議なくいずれも委員長報告のとおり原案可決又は承認議決。次いで、

日程第2 議案第25号ないし第28号を議題とし、知事から提案説明の後、委員会付託を省略の上、採決に入り、まず、日程第2のうち議案第25号、第26号及び第28号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって、同意議決又は原案可決。次に、議案第27号を問題とし、異議なく同意議決。次いで、

日程第3 意見案第3号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略の上、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって原案可決。次いで、

日程第4 意見案第4号ないし第7号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略の上、異議なくいずれも原案可決。次に、

日程第5 陳情審査の件を議題とし、委員長報告を省略の上、異議なく委員会決定（採択2件）のとおり採択と決定。次いで、閉会中請願・陳情継続審査及び事務調査の件について、各常任委員長から申し出のとおり、閉会中継続審査または調査に付することに決定して、今期定期例会に付議された案件はすべて議了。三上勇議長から閉会に当たってのあいさつがあつて午後7時46分閉会。

予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました議案審査の経過と結果について御報告申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は、去る10月17日設置され、昭和58年度各会計補正予算4件が付託されたのですが、委員会といたしましては、同日、直ちに正・副委員長の互選を行いますとともに、審査の方法等について協議の結果、各部所管に対する審査については、分科会方式によりこれを行うこととし、直ちに2分科会を設置し、それぞれの案件を付託した次第であります。

各分科会におきましては、同日、正・副委員長の互選を行った結果、第1分科会は、委員長に土屋良三君、副委員長に一野坪勉君、第2分科会は、委員長に小田原要四藏君、副委員長に岩本允

君を選任するとともに、審査の方法等について協議を行い、18日から各部所管の審査に入り、本日をもって各分科会の一切の質疑を終了し、本日の委員会において各分科委員長より分科会における審査経過の報告書が提出された次第であります。

今回付託されました案件は、景気対策のための道単独事業費などのほか、当面措置を要する経費について所要の措置を講じようとするものであり、総額140億3,557万円余に及ぶ補正予算でありますと、これらの案件を中心に道政各般にわたり質疑が行われた次第であります。

なお、各分科会において論議の対象となりました主なる事項につきましては、別紙お手元に配付の報告書により御承知願いたいと存じます。

本委員会におきましては、引き続き各分科会において質疑保留となった事項について総括質疑を行い、付託案件に対する一切の質疑を終結した次第でありますが、その総括質疑の主なものを申し上げますと、

北海道身体障害者スポーツ協会（仮称）設立について、

苦東に臨空性を加味するという考え方について、
であります。

質疑終結後、各会派代表者間におきまして、各案件について意見の調整を図りました結果、いずれも意見の一一致を見、本日の委員会におきまして、議案第1号ないし第4号の各案件は、全会一致、原案可決と決定した次第であります。

以上、本委員会に付託されました議案の審査経過と結果を申し上げたのでありますが、委員各位におかれましては、短期間にもかかわりませず、連日、慎重かつ御熱心に審議を尽くされ、その御労苦に対し、衷心より敬意を表する次第であります。

これをもって、私の報告を終わります。

第3回定例会において知事から提出のあった案件

議 案

提出月日	番号	件 名	付 託 委員会	議決月日	議事結果
9. 28	1	昭和58年度北海道一般会計補正予算（第2号）	予算特別	10. 22	原案可決
同	2	昭和58年度北海道母子福祉資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	3	昭和58年度北海道病院事業会計補正予算（第2号）	同	同	同
同	4	昭和58年度北海道海有林野事業会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	5	北海道公共下水道条例案	建設	同	同
同	6	北海道水産加工経営改善強化資金融通助成事業基金条例案	水産	同	同
同	7	北海道身体障害者更生援護施設設置条例の一部を改正する条例案	厚生	同	同
同	8	主要農作物種子法の実施に関する条例の一部を改正する条例案	農務	同	同
同	9	防災無線電話施設整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	総務	同	同
同	10	空港整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	同	同	同
同	11	流域下水道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	建設	同	同
同	12	沿岸漁場整備開発事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	水産	同	同
同	13	漁港修築事業等に伴う地方公共団体の負担金に関する件	同	同	同
同	14	林道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	文教林務	同	同
同	15	茅部郡鹿部村を鹿部町とする件	総務	同	同
同	16	工事請負契約の締結（札幌医科大学附属病院等整備第2期建築工事）に関する件	同	同	同
同	17	工事請負契約の締結（札幌医科大学附属病院等整備第2期冷暖房設備工事）に関する件	同	同	同
同	18	工事請負契約の締結（札幌医科大学附属病院等整備第2期衛生設備工事）に関する件	同	同	同
同	19	工事請負契約の締結（札幌医科大学附属病院等整備第2期空調換気設備工事）に関する件	同	同	同
同	20	工事請負契約の締結（札幌医科大学附属病院等整備第2期電気設備工事）に関する件	同	同	同
同	21	工事請負契約の締結（札幌医科大学附属病院等整備第2期弱電設備工事）に関する件	同	同	同
同	22	財産の取得（土地・野幌総合運動公園事業用地）に関する件	建設	同	同
同	23	財産の取得（土地・北海道七飯高等学校用地）に関する件	文教林務	同	同
同	24	財産の処分（土地・江別市野幌若葉町5番ほか1筆）に関する件	総務	同	同
10. 22	25	北海道教育委員会委員の選任につき同意を求める件		同	同意議決
同	26	北海道公害審査会委員の選任につき同意を求める件		同	同
同	27	北海道土地利用審査会委員の選任につき同意を求める件		同	同
同	28	特別職員の退職手当の額を定める件		同	原案可決

報 告

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
9. 28	1	専決処分報告につき承認を求める件〔船舶建造請負契約の締結に関する件（北海道立水産高等学校実習船）9月10日専決処分〕	文教林務	10. 22	承認議決
同	2	専決処分報告の件〔工事請負契約の変更（工事請負契約の締結、昭和57年7月15日議決を経た議案第20号に係るもの）に関する件、9月9日専決処分〕			報告のみ
同	3	専決処分報告の件〔工事請負契約の変更（工事請負契約の締結、昭和57年9月8日報告をした報告第1号に係るもの）に関する件、9月9日専決処分〕			同
同	4	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定、8月10日1件、8月17日2件、8月31日1件、9月7日1件）			同

前会から継続審査中の案件

報 告

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
7. 13	26	昭和57年度北海道病院事業会計決算に関する件	企業会計 決算特別	9. 28	意見を付し 認定議決
同	27	昭和57年度北海道有林野事業会計決算に関する件	同	同	認定議決
同	28	昭和57年度北海道北広島團地開発事業会計決算に関する件	同	同	意見を付し 認定議決
同	29	昭和57年度北海道電気事業会計決算に関する件	同	同	認定議決
同	30	昭和57年度北海道工業用水道事業会計決算に関する件	同	同	同
同	31	昭和57年度北海道有料道路事業会計決算に関する件	同	同	同
同	32	昭和57年度北海道工業團地開発事業会計決算に関する件	同	同	意見を付し 認定議決

第3回定例会において議員から提出のあった案件

決 議 案

提出月日	番号	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果	備 考
10. 11	1	冷害対策特別委員会設置に関する決議	平野明彦議員ほか 12人	10. 11	原案可決	議会運営

注 備考欄は提出者の所属委員会等を示す。

意 見 案

提出月日	番号	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果	備 考
9. 28	1	大韓航空機撃墜事件に関する要望意見書	平野明彦議員ほか14人	9. 28	原案可決	議会運営
同	2	昭和58年産畑作物価格等に関する要望意見書	寺崎政朝議員ほか13人	同	同	農務
10. 22	3	「テクノポリス函館」の開発計画の承認に関する要望意見書	湯本芳志議員ほか13人	10. 22	同	商工労働
同	4	泰東丸の確認調査と遺骨収集に関する要望意見書	星野健三議員ほか12人	同	同	厚生
同	5	医療保険制度改革案に関する要望意見書	同	同	同	同
同	6	昭和58年冷害対策に関する要望意見書	大平秀雄議員ほか26人	同	同	冷害対策特別
同	7	冬期間の暖房代実費である「燃料手当(寒冷地手当)」を非課税扱いとする要望意見書	川口常人議員ほか13人	同	同	総務

注 備考欄は提出者の所属委員会を示す。

決議案

決議案第1号

(昭和58年3月定
平野明彦議員ほか12人提出<議連>
昭和58年10月11日 原案可決)

冷害対策特別委員会設置に関する決議

1. 本議会に27人の委員をもって構成する冷害対策特別委員会を設置する。
2. 本委員会は、
 - (1) 昭和58年における異常気象による冷害対策の推進を図る。
 - (2) 各常任委員会所管の前号関係事務について連絡調整を行う。
3. 本委員会は、閉会中も調査を行うことができることとし、議会において調査終了を議決するまで継続存置する。

意見案

意見案第1号

(昭和58年3月定
平野明彦議員ほか14人提出<議連>
昭和58年9月28日 原案可決)

大韓航空機墜落事件に関する要望意見書

9月1日未明、邦人28人を含む269人の乗客、乗員を乗せた大韓航空機がソ連軍用機により撃墜されたことは、人道上、国際法上からも重大な事件であり、北海道議会は、かかる事件の発生を極めて遺憾とし、この事件の犠牲者に対し深甚なる哀悼の意を表するものである。

事件発生後、道、市町村、関係機関はもとより、道民こぞって遭難者及び漂流物の捜索等に全力を傾注しているが、北海道はソ連と領海を接し、また、事件の現場付近には、本道漁船の操業海域として多数の漁船が出漁していることから、道民に大きな不安と衝撃をあたえている。

よって、政府は今後ともソ連に対して、本事件に対し誠意をもって対応するよう強力に求め、更に、関係各国と緊密に連絡して次の事項に関して適切な措置が講ぜられるよう要望する。

記

1. 国際機関等による事故調査団の派遣など、あらゆる方途により、大韓航空機が領空侵犯をするに至った原因を含め、事件の真相究明に努めること。
2. ソ連政府に対し、被害者の補償及びこの種の事件再発防止についての保障措置を求めるここと。
3. 邦人関係者に対して、なしうる最大限の配慮を払うこと。
4. 今後かかる事件の再発を防止し、民間航空の安全を確保するため、関係国と協議しつつ、ICAO等の国際機関等において適切な措置が講ぜられるよう努めること。
5. 今回の事件の捜索活動に要した費用の補てんを速やかに講ずること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 三 上 勇

内閣総理大臣、法務大臣、外務大臣、大蔵大臣} 各通
厚生大臣、農林水産大臣、運輸大臣、自治大臣}

意見案第2号

(昭和58年3定
寺崎政朝議員ほか13人提出<農務>
昭和58年9月28日 原案可決)

昭和58年産畑作物価格等に関する要望意見書

北海道の畑作は、稻作、酪農、畜産とともに本道農業の基幹部門であり、我が国における食糧供給の重責を担っております。

しかしながら、本道の畑作経営は、厳しい自然条件のもとにあって、土地基盤整備の立ち遅れ、生産資材価格や労賃の上昇、雑豆等の市場開放に対する要請の強まりなど多くの課題を抱えており、加えて、本年は記録的な低温と日照不足に見舞われて、畑作農家の受けた影響は少なくありません。

つきましては、昭和58年産畑作物の生産者価格の決定に当たっては、次の事項について適切な措置を講ずるよう強く要望致します。

記

1. てん菜の最低生産者価格及びてん菜糖の買入価格について

てん菜の最低生産者価格については、農家所得と再生産の確保が期せられるよう、奨励金を価格に織り込み適正な価格に定めるとともに、てん菜糖の買入価格についても集荷製造経費等の実態に即して適正に定めること。

また、てん菜の位置づけの確保、てん菜糖の流通販売対策等について適切な措置を講ずること。

2. 馬鈴しょでん粉の原料基準価格及び政府買入価格について

馬鈴しょでん粉の原料基準価格については、農家所得と再生産の確保が期せられるよう適正な価格に定めるとともに、政府買入価格についても集荷加工経費等の実態に即して適正に定めること。

また、コーンスターク用とうもろこしに係る関税割当制度を延長し、適切な抱合せ販売制度を継続すること。

3. 大豆の基準価格について

大豆の基準価格については、農家所得と再生産の確保が期せられるよう、適正な価格に定めるとともに、適正な生産対策を講ずること。

4. 関連諸対策について

雑豆、でん粉の輸入の自由化及び枠拡大を行わないこと。

また、生産コストの低減を図るため、農業生産資材等の価格安定について、適切な措置を講ずること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 三 上 勇

内閣総理大臣、大蔵大臣} 各通
農林水産大臣

意見案第3号

(昭和58年3定
湯本芳志議員ほか13人提出<商工労働>
昭和58年10月22日 原案可決)

「テクノポリス函館」の開発計画の承認に関する要望意見書

「テクノポリス函館」の建設については、函館地域はもとより、本道の地域経済社会の活性化に寄与するところが極めて大きいものと考えられる。

このため、高度技術工業集積地域開発促進法に基き、北海道が提出する開発計画を、早期に承認のうえ、「テクノポリス函館」の実現がはかられるよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 三 上 勇

内閣総理大臣、大蔵大臣、農林水産大臣
通商産業大臣、建設大臣、自治大臣、国土庁長官} 各通

意見案第4号

(昭和58年3定
星野健三議員ほか12人提出<厚生>
昭和58年10月22日 原案可決)

泰東丸の確認調査と遺骨収集に関する要望意見書

本年7月から8月にかけて、三次にわたり実施された小平町鬼鹿沖における泰東丸の確認調査は、全国権太連盟がその船名確認に全力を挙げてきたが、調査期間の制約等から、直接船名に結びつく手掛かりを得ることは出来ないままに、本年の調査終了を余儀なくされている。

しかしながら、この調査の結果、生存者の証言と一致する胴付きゴム長、機銃弾を始め、80点の物品の引揚げや船体の特徴確認を行うなど、多くの成果をおさめ、関係者の悲願達成が可能であるとの確信を得たところである。

「遺骨や遺品の収集を済ませないと戦後にはならない」として、調査にあたった全国権太連盟はもとより、その調査を祈りに似た気持で見まもった遺族の胸中を思う時、道民ひとりく、これが実現を心から願うものである。

全国権太連盟は、今回の調査結果をもとに、明年度も更にその確証を得るべく調査の再開を予定しているところであるが、同連盟のみでは、極めて困難な状況にあるので、国においてこの実情を十分に賢察され、速やかに調査を行うとともに、遺骨収集が早期に実現出来る措置を講ずるよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 三 上 勇

内閣総理大臣、厚生大臣 各通

意見案第5号

(昭和58年3月定
星野健三議員ほか12人提出<厚生>
昭和58年10月22日 原案可決)

医療保険制度改正案に関する要望意見書

厚生省は、昭和59年度予算の概算要求にあたって、国庫負担の削減を中心とする医療費の抑制策として、被用者保険本人の給付率引き下げをはじめ、入院時給食費の一部負担やビタミン剤など一部薬剤を保険給付から除外するなど、医療保険制度の改正が盛り込まれている。

しかし、この改正案は、医療費の大幅な患者負担増となり、国民の生活を圧迫するのみならず、受診の抑制につながり、ひいては、医療本来のあるべき姿である予防、早期治療に影響を及ぼすことが懸念される。

膨張し続ける医療費問題は、避けることのできない課題ではあるが、国民の生命と健康に係わる問題を、単に患者負担に求めるにに、疑問を抱かざるを得ない。

政府におかれどもは、社会保障の基本である医療保険の重要性にかんがみ、現行制度を後退させることなく、慎重に対処し、今後とも国民の健康水準の向上を目指すよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 三上 勇

内閣総理大臣、大蔵大臣} 各通
厚生大臣

意見案第6号

(昭和58年3月定
大平秀雄議員ほか26人提出<冷害対策特別>
昭和58年10月22日 原案可決)

昭和58年冷害対策に関する要望意見書

本道においては、6月から7月にかけて、全道的に低温と日照不足が続き、特に6月は月の平均気温が11度と平年に比べ3.1度も低く、観測史上90年ぶりという記録的な低温となった。

このため、水稻、豆類などの農作物の生育は著しく遅延し、被害見込額は、9月20日現在でも1,193億円となっており、その後の気象経過からみても被害はさらに増加するものと見込まれている。

このように、北海道の農業は昭和56年以来2年ぶりの冷害に見舞われ、農家の経済的打撃は極めて大きく、まことに憂慮にたえないところである。

また、このほか、8億円の造林用苗木の被害も発生している。

よって、国においては、かかる事態を深く認識され、被害農家の生活安定と再生産の確保を図るとともに、地域経済への影響を防止するため、次の事項について、速やかに措置されるよう強く要望する。

記

1. 天災融資法の適用及び激甚災害の指定について

今次の冷害について、天災融資法を適用するとともに、激甚災害として指定し、天災資金所要額を確保されたい。

2. 自作農維持資金の確保について

- 被害農家の既借入残高を十分考慮した特例貸付限度を設定するとともに、所要額を確保されたい。
3. 制度資金の償還猶予について
被災者の既借入れの制度資金について償還猶予措置を講ぜられたい。
 4. 国営土地改良事業負担金の徴収猶予等について
国営土地改良事業負担金の本年度分の徴収猶予等について措置を講ぜられたい。
 5. 農業共済金の早期支払と損害評価の特例措置について
損害評価の早期認定等により共済金を年内に早期支払いできるよう措置されたい。また、政府買入れの対象とならない低品位米について、共済減収とみなす特例措置を講ぜられたい。
 6. 規格外米の政府買入れについて
冷害により発生する規格外米について、政府買入れの特例措置を講ぜられたい。
 7. 水田利用再編奨励補助金の早期交付について
昭和58年度奨励補助金の精算払を実施できるよう措置されたい。
 8. 昭和58年産米予約概算金の返納に関する特例について
被害農家の予約概算金の返納に關し、利子の減免等特例措置を講ぜられたい。
 9. 国内麦流通円滑化特別対策事業の推進について
規格外麦の流通の円滑化を図るため、国内麦流通円滑化特別対策事業の推進について指導の強化を図られたい。
 10. 農産物検査規格の特例について
豆類について下位等級を設定されたい。
 11. 再生産用種子購入費の助成について
被害農家の再生産に必要な水稻などの種子購入費に対し助成されたい。
 12. 越冬用飼料確保対策について
越冬用飼料の確保を図るため、政府操作飼料の払下げなどの措置を講ぜられたい。
 13. 公共事業等の配分について
被害農業者の就労と景気浮揚の観点から公共事業の追加補正を早期に決定し、本道に重点配分するとともに、地方単独事業に対する起債措置を講ぜられたい。
 14. 地方財政対策について
道及び関係市町村は、税の減免、徴収猶予等による減収に加え、冷害対策のための特殊財政需要が増大し、財政運営が窮屈することが予想される実態にあるので、所要の財政措置を講ぜられたい。
 15. 中小企業金融対策について
中小企業者は、冷害により農家に対する売掛金の固定化等の影響を受け資金繰りがひっ迫るので、政府系中小企業金融3機関について、特別枠の設定、既借入金の償還猶予等、資金の確保及び貸付条件の緩和に關し、特別の措置を講ぜられたい。
 16. 国民健康保険事業の助成について
被保険者に対する国民健康保険料（税）の減免が予想されるので、特別調整交付金の交付について配慮願いたい。
 17. 要保護及び準要保護児童生徒援助費補助金等の増額について
冷害により就学（園）困難となる児童生徒等に対し、市町村が行う就学（園）援助について国庫補助金を措置されたい。
 18. 育英会奨学生枠の増加割当てについて

高等学校に在学している被災者子弟に対して、日本育英会奨学生の採用条件の弾力的な取扱いと採用枠の特別割当ての措置を講ぜられたい。
右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 三 上 勇

内閣総理大臣、大蔵大臣、文部大臣、厚生大臣
農林水産大臣、通商産業大臣、自治大臣
北海道開発庁長官 } 各通

意見案第7号

(昭和58年3定
川口常人議員ほか13人提出<総務>
昭和58年10月22日 原案可決)

冬期間の暖房代実費である「燃料手当（寒冷地手当）」を 非課税扱いとする要望意見書

冬が長く、積雪、寒冷の本道においては、家庭燃料の使用期間が長期間にわたり、家計支出に占める暖房用燃料費の割合が飛び抜けて高く、冬期間暖房代実費として支給される「燃料手当（寒冷地手当）」は必要不可欠な生活維持費となっている。

よって、政府においては、北海道における積雪、寒冷の実情等にかんがみ、「燃料手当（寒冷地手当）」を非課税扱いとする特別法を制定するよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 三 上 勇

内閣総理大臣、大蔵大臣、自治大臣
総理府総務長官、北海道開発庁長官 } 各通
国土庁長官

請　願・陳　情

① 第3回定例会において各常任・特別委員会に付託されたもの。

請　願

文書表番号	件　　名	請　願　者	付　託　委　員　会	審　査　の　結　果
20	国立病院・療養所の廃止や地方移管・民営化、現場業務の民間下請けに反対し、医療従事職員の大幅増員を求める件	全日本国立医療労働組合 北海道地方協議会 議長 八田 克弘	厚生	継続審査
21	個人事業税に「みなし法人課税（事業主報酬）制度」の適用に関する件	富良野地方青色申告会連合会 会長 竹本 清作	総務	同
22	「非核・平和北海道宣言」を求める件	障害者の生活と権利を守る 北海道連絡協議会 会長 三浦 磯	同	同

陳　情

文書表番号	件　　名	陳　情　者	付　託　委　員　会	審　査　の　結　果
3	サラ金利用者のサラ金苦による悲劇の根絶及び住民保護に関する件	「軍事費を削り、くらしと福祉・教育の充実を」国民大運動北海道実行委員会 代表 斎藤 敏夫	商工労働	継続審査
4	医療保険制度の改悪に反対し、住民の健康を守る決議に関する件	同	厚生	同
5	老人医療の無料制度を復活・拡充し、老人を医療から締め出す老人診療報酬体系等の即時撤廃を求める決議に関する件	同	同	同
6	「大型間接税導入と申告納税制度の改正に反対し、3兆円減税を要求する意見書」決議の件	同	総務	同
7	指名競争入札執行の自粛の件	札幌市豊平区平岸1の2の6の201号 武田 芳郎	同	同
8	冬期間の暖房代実費である「燃料手当」の非課税扱いを要望する件	北海道中小企業家同友会 代表理事 井上 良次	同	採択

② 継続審査中のものであって、第3回定例会において採否の決定があったもの。

陳　情

文書表番号	件　　名	付　託　委　員　会	審　査　の　結　果
1	鹿部村の町制施行の件	総務	採択

(③) 更に継続審査されるもの。

請　願

文書表番号	件	名	付託委員会
5	北海道を核戦場にさせないための件		総務
12	登別市に警察署設置の件		同
14	平和に関する件		同
4	食品添加物の使用規則を強化し、消費者本位の食品衛生行政を求める件		厚生
6	老人医療に関する諸施策の拡充を求める件		同
9	灯油元売価格の値下げなどを求める件		同
11	食品添加物の規則緩和に反対する件		同
15	老人医療と諸施策の拡充を求める件		同
16	老人医療に関する件		同
18	灯油値下げに関する件		同
8	灯油元売価格の値下げなどを求める件		商工労働
17	灯油値下げに関する件		同
13	本道水田等農家の抜本的負債対策を実現し、冷害対策強化に関する件		農務
2	北海道立札幌中島体育センター別館を早期改修し弓道専用道場の併設を求める件		文教林務
3	北海道立武道館の建設を促進し専用弓道場の併設を求める件		同
7	子どもたちにゆきとどいた教育を求める件		同
19	公立高校の増設等に関する件		同

陳　情

文書表番号	件	名	付託委員会
2	社会福祉法人釧路まりも学園の運営に関する件		厚生

委員会の動き

議会運営委員会

○9月27日（火） 午後5時17分、議会運営委員会室において開議、午後5時27分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 委員長から、元道議会議員奈良敬藏氏（後志支庁管内選出、第16期～20期在職）の逝去（9月21日）について報告。
- ② 水産委員会及び総合開発調査特別委員会の各副委員長から、議長に対し、本日、佐藤静雄水産委員長（自民）及び武部勤総合開発調査特別委員長（自民）から、委員長辞任願の提出があり、委員会においてこれを許可した旨報告があったことを報告。
- ③ 常任委員の委員会所属変更について、本日中崎昭一厚生委員（自民）から水産委員に、佐藤静雄水産委員（自民）から厚生委員に、それぞれ委員会の所属変更について議長に対し申し出があり、明日の本会議において申し出のとおり所属変更をはかることを決定。
- ④ 特別委員の辞任許可及び補欠選任について、武部勤総合開発調査特別委員（自民）及び笹浪幸男石炭対策特別委員（自民）から、それぞれ委員辞任の願い出があり、本日、議長がこれを許可したことを報告。

これに伴う委員の補充については、自民党から推せん願うことをはかり了承。

- ⑤ 木本由孝委員（自民）から、総合開発調査特別委員に笹浪幸男議員（自民）、石炭対策特別委員に武部勤議員（自民）の推せんがあり、補欠選任することをはかり決定。
- ⑥ 総務部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ⑦ 総務部長から、昭和58年冷害及び大雨災害について概要報告があり、知事から提案説明に先立ち本会議でこの概要報告を行うことについてはかり、異議なく了承。
- ⑧ 代表質問の通告について、10月1日正午までに提出願うことを決定。

でに提出願うことを決定。

- ⑨ 一般質問について、順位は従来の例により取り進めることをはかり決定。十分比による10番目については、自民と公明とが同率となり両会派間において調整を要するので調整願うこととし、調整結果については後日報告することとした承。諸派の順位については、無所属、共産の順となることを報告し了承。通告については、10月4日正午までに提出願うことを決定。
- ⑩ 大韓航空機墜事件に関する要望意見案の発議について、別紙配付のとおり議会運営委員並びにオブザーバーの提出により要望意見案を発議することをはかり決定。明日の本会議において、委員長が提出者を代表して趣旨説明を行なったあと議決する扱いとすることをはかり決定。
- ⑪ 農務委員会における要望意見案の発議について、農務委員会において昭和58年産畑作物価格等に関する要望意見案の発議が予定されており、提出された場合、明日の本会議において議決する扱いとすることをはかり了承。
- ⑫ 議案調査のため、9月29日から10月3日まで休会し、10月4日再開することをはかり決定。
- ⑬ 9月28日の本会議の議事順序については、明日協議することとした。

○9月28日（水） 午前9時50分、議会運営委員会室において開議、午前9時53分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 意見案第1号及び第2号について、昨日の委員会において協議願ったとおり、本日の本会議において議決することをはかり決定。
- ② 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。
 - ▽ 議事順序
 - （開会）
 - 日程第1 会議録署名議員の指定
諸般の報告
元議員の逝去報告
 - 日程第2 会期決定の件（9月28日から10月21日まで24日間）

- 日程第3 常任委員の委員会所属変更の件
- 日程第4 特別委員補欠選任の件
- 日程第5 議案第1号ないし第24号及び報告第1号
昭和58年冷害及び大雨災害等に関する概要報告並びに提出議案に関する知事の説明
- 日程第6 前会より継続審査の報告第26号ないし第32号
宇川源吉企業会計決算特別委員長の報告
(討論)
1. 大橋晃議員の報告第29号ないし第32号に関する反対討論
- (討論終結宣言)
- (採決)
1. 報告第29号ないし第32号を問題とし、委員長報告のとおり決することについて起立により採決(共産反対)
2. 報告第26号ないし第28号を問題とし、委員長報告のとおり決することについて簡易採決
- 日程第7 意見案第1号
意見案第1号 大韓航空機墜墜事件に関する要望意見書
平野議員の意見案第1号に関する説明
(委員会付託省略)
- (採決)
1. 本件を原案のとおり決することについて簡易採決
- 日程第8 意見案第2号
意見案第2号 昭和58年産畑作物価格等に関する要望意見書
(説明及び委員会付託省略)
- (採決)
1. 本件を原案のとおり決することについて簡易採決
議案調査のための休会日の決定
(9月29日から10月3日まで)
- 10月4日(火) 午前9時50分、議会運営委員会室において開議、午後5時
- 2分散会
委員長 平野 明彦(自民)
- ① 代表質問の通告(4人)について報告。
本日2人、明日2人とすることに決定。
- ② 冷害対策特別委員会の設置について、別紙「特別委員会の設置に関する試案」のとおり設置することをはかり決定。
- ③ 委員長から、萩上元春文教林務副委員長(社会)が富山県で開催される第7回全国育樹祭に出席するため、10月4日、5日の2日間、また、寺崎政朝農務委員長(自民)及び神本三也副委員長(社会)が畑作物価格等に関する中央折衝のため10月6日、7日の2日間、本会議を欠席する旨報告。
- ④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。午前9時55分休憩、午後5時再開。
- ▽ 議事順序
(諸般の報告)
- 日程第1 議案第1号ないし第24号及び報告第1号
質疑並びに一般質問(代表質問2人)
- ◎日程第1の議事中止
(諸般の報告)
- 追加日程 決議案第1号
決議案第1号 冷害対策特別委員会設置に関する決議
(説明及び委員会付託省略)
- (採決)
1. 本件を原案のとおり決することについて簡易採決
冷害対策特別委員の選任
- ⑤ 休憩前の本会議における高橋康之議員(自民)の議事進行発言の取り扱いについて、事務局長から議事録反訳の見通しについて説明があり、本日の本会議は日程を延期し、延会することをはかり決定。
- 10月5日(水) 午前9時45分、議会運営委員会室において開議、午後4時45分散会
委員長 平野 明彦(自民)
- ① 昨日の本会議における高橋康之議員(自民)

の議事進行発言の取り扱いについて、総務部長から、議事録精査中でありなお時間を要する旨報告。午前9時47分休憩、午後4時40分再開。

- ② 総務部長から、佐々木利昭議員（自民）の質問に対する答弁準備にお時間を要する旨発言があり、本日の本会議は、日程を延期し延会することをはかり決定。
- ③ 一般質問の通告（24人）について報告。順位並びに進め方については、明日の委員会で協議願うことを了承。

○10月6日（木） 午後1時30分、議会運営委員会室において開議、午後4時38分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 10月4日の本会議における高橋康之議員（自民）の議事進行発言の取り扱いについて、総務部長から、議事録精査の結果、答弁洩れ等があり、知事から補足答弁を行いたい旨発言があつて、各委員の意見交換の後、今議会の審議のおくれについて、理事者から遺憾の意を表明するため、本委員会への副知事出席の件についてはかり決定。午後2時7分休憩、午後2時9分再開。
- ② 中川副知事から、質問通告を受けながら答弁洩れ等があり、このような事態となり時間を要した点について、今後、十分注意し対応する旨発言。
- ③ 新聞記事に係る会派間の問題について、会派間で解決願うことを了承。午後2時12分休憩、午後4時36分再開。
- ④ 休憩前の委員会において自民から提起のあった問題について、議長から問題解決に努力中であるが、現時点で結論を得るに至っていない状況にある旨話があつたことを報告の後、本日の本会議は日程を延期し、延会することをはかり決定。

○10月7日（金） 午前11時20分、議会運営委員会室において開議。午後4時37分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 委員長から、昨日の委員会で自民から提起

のあった問題について、正副議長が問題の解決のため鋭意努力中であるが、なお時間を要する状況であることを報告。

- ② 一般質問の通告内容等の変更について了承。順位については、9月27日の委員会決定のとおり従来の例によることとし10番目は、自民と公明の間での調整の結果、今回は自民となつたことを報告し了承。個人別順位については議事課長説明のとおりとすることに決定。
- ③ 一般質問の進め方については、改めて協議願うことを了承。午前11時25分休憩、午後4時36分再開。
- ④ 委員長から、昨日の委員会において自民から提起のあった問題について、議長から正副議長が問題解決のため努力しており、また、関係会派間においても努力中であるが、なお時間を要する旨話があつたことを報告の後、本日の本会議は日程を延期し、延会することをはかり決定。

○10月8日（土） 午前9時52分、議会運営委員会室において開議。午後零時12分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 委員長から、去る10月6日の委員会において自民から提起のあった問題について、議長から正副議長並びに関係会派間において、問題解決のため引き続き努力中である旨話があつたことを報告。午前9時54分休憩、午後零時10分再開。
- ② 委員長から、自民から提起のあった問題について事態の解決をみ、各会派会長会議に報告し了承を得た旨話があつたことを報告の後、本日の本会議は日程を延期し、延会することとし、佐々木利昭議員（自民）の質問に対する知事の補足答弁は、10月11日の本会議で行うことをはかり決定。

○10月11日（火） 午前9時44分、議会運営委員会室において開議。午前9時47分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 代表、一般質問の通告内容等の変更につい

て了承。

- ② 一般質問の今後の進め方について、本日は代表質問終了後2人、12日6人、13日6人、14日6人、15日2人の予定で行うことをはかり決定。

- ③ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

- 日程第1 議案第1号ないし第15号、第17号ないし第24号及び報告第1号質疑並びに一般質問（代表質問1人・継続）

◎ 日程第1の議事中止

(諸般の報告)

追加日程 決議案第1号

決議案第1号 冷害対策特別委員会設置に関する決議

(説明及び委員会付託省略)

(採決)

1. 本件を原案のとおり決することについて簡易採決

冷害対策特別委員の選任

◎ 日程第1の議事継続

質疑並びに一般質問（代表質問2人、一般質問2人）

○10月12日（水） 午前9時44分、議会運営委員会室において開議。午前9時48分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 委員長から、元道議会議員田中正苗氏（函館市選出、第18期在職）の逝去（10月8日）について報告。

- ② 一般質問の通告内容等の変更について了承。

- ③ 本日の本会議について、一般質問5人行うことをはかり了承。

- ④ 予算特別委員会の構成並びに正副委員長の配分についてはかり決定。設置動議について道政から提出願うこととした了承。

- ⑤ 委員長から、農務委員会正副委員長外3名が10月13日、中崎水産委員長が10月14日、岩田文教林務委員長並びに木本建設委員が10月

14日、15日の2日間それぞれ中央折衝のため上京することを報告した了承。

- ⑥ 総務部長から、58年産畑作物価格等に関する中央要請のため、永澤副知事が本会議を欠席する旨発言がありました了承。

- ⑦ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

元議員の逝去報告

- 日程第1 議案第1号ないし第15号、第17号ないし第24号及び報告第1号質疑並びに一般質問（一般質問5人）

○10月13日（木） 午前9時42分、議会運営委員会室において開議、午前9時45分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 一般質問の通告内容等の変更について了承。

- ② 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

- 日程第1 議案第1号ないし第15号、第17号ないし第24号及び報告第1号質疑並びに一般質問（一般質問6人）

○10月14日（金） 午前9時40分、議会運営委員会室において開議、午後1時8分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 総務部長から、昨日の本会議における橋浪蔵議員（自民）の再質問に対する答弁準備になお時間を要する旨発言があつた了承。

- ② 一般質問の通告内容等の変更について了承。午前9時41分休憩、午後1時5分再開。

- ③ 本日の本会議は、橋浪蔵議員（自民）の再質問に対する知事の答弁から入ることをはかり決定。

- ④ 一般質問の通告内容等の変更について了承。

- ⑤ 本日の本会議について、一般質問6人の予定で取り進めることをはかり了承。
- ⑥ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第15号、第17号ないし第24号及び報告第1号
質疑並びに一般質問（一般質問6人）

○10月15日（土） 午前9時43分、議会運営委員会室において開議、午後零時32分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 総務部長から、昨日の本会議における吉川貴盛議員（自民）の再質問に対する答弁に関し、鋭意精査中であり、なお時間を要する旨発言があつて、午前9時44分休憩、午後零時30分再開。
- ② 総務部長から、吉川貴盛議員（自民）の再質問に対する答弁に関し、なお時間を要する見込みである旨発言の後、本日の本会議は日程を延期し、延会することをはかり決定。

○10月17日（月） 午前9時45分、議会運営委員会室において開議、午前11時55分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 総務部長から、10月14日の本会議における吉川貴盛議員（自民）の再質問に対する答弁に関し、なお若干時間を要する旨発言があつて、一旦休憩することをはかり了承。
- ② 一般質問の通告の取り下げについて了承の後、午前9時46分休憩、午前11時50分再開。
- ③ 総務部長から、答弁準備ができた旨発言があり、本日の本会議は吉川議員の再質問に対する教育長の答弁から入ることをはかり決定。
- ④ 本日の本会議について、一般質問は継続質問1人を含め3人行う予定で取り進めることに決定。
- ⑤ 予算特別委員会の各派別分科委員数について決定した旨報告し、委員の選任について各

会派から提出のあった別紙名簿のとおり選任することをはかり決定。設置動議について中川隆之議員（道政）に提出願うことを了承。

- ⑥ 議案の各委員会付託について、事務局長から説明のとおりとすることに決定。
- ⑦ 各委員会付託議案審査のため、10月18日から20日まで休会し、21日再開することをはかり決定。
- ⑧ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第15号、第17号ないし第24号及び報告第1号
質疑並びに一般質問（一般質問2人・うち継続1人）

日程第2 議案第16号
質疑並びに一般質問（一般質問1人）

（質疑終結宣言）

○予算特別委員会設置

○予算特別委員の選任

○議案の各委員会付託

各委員会付託議案審査のため休会の決定
(10月18日から10月20日まで)

○10月21日（金） 午後4時24分、議会運営委員会室において開議、午後4時25分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 予算特別委員会における付託議案等の審議状況について報告。
- ② 会期を10月22日まで1日間延長することをはかり決定。
- ③ 本日の本会議について、会期を10月22日まで1日間延長して散会することをはかり決定。

○10月22日（土） 午後3時25分、議会運営委員会室において開議、午後7時2分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について報告の後、本日の本会議は、取り敢

- えず会議時間を延長することをはかり決定。
午後3時26分休憩、午後6時53分再開。
- ② 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について、すべて議了した旨報告。
 - ③ 総務部長から、追加提出議案に関する説明があって、本日の本会議において議決する扱いとすることを決定。
 - ④ 意見案第3号ないし第7号の提出があった旨報告。本日の本会議において議決する扱いとすることをはかり決定。
 - ⑤ 各関係委員会から審査報告のあった陳情について、本日の本会議において議決する扱いとすることをはかり決定。
 - ⑥ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

- 日程第1 議案第1号ないし第24号及び報告第1号
予算特別、建設、水産、厚生、農務、総務各委員長、文教林務副委員長報告

(討論)

1. 大橋晃議員の議案第1号、第4号、第5号、第9号ないし第14号及び第16号に関する反対討論

(討論終結宣言)

(採決)

1. 議案第1号、第4号、第5号、第9号ないし第14号及び第16号を問題とし、委員長報告（すべて可決）のとおり決することについて起立により採決（共産反対）

2. 議案第2号、第3号、第6号ないし第8号、第15号、第17号ないし第24号及び報告第1号を問題とし、委員長報告（議案はすべて可決、報告は承認議決）のとおり決することについて簡易採決

- 日程第2 議案第25号ないし第28号
追加提出議案に関する知事の説明
(委員会付託省略)
(採決)

1. 議案第25号、第26号及び第28号を問題とし、議案第25号及び第26号をいずれも原案のとおり同意、議案第28号を原案のとおり決することについて起立により採決（共産反対）

議案第25号 北海道教育委員会委員の選任につき同意を求める件

議案第26号 北海道公害審査会委員の選任につき同意を求める件

議案第28号 特別職職員の退職手当の額を定める件

2. 議案第27号を問題とし、本件を原案のとおり同意することについて簡易採決

議案第27号 北海道土地利用審査会委員の選任につき同意を求める件

日程第3 意見案第3号

意見案第3号 「テクノポリス函館」の開発計画の承認に関する要望意見書

(説明及び委員会付託省略)

(採決)

1. 本件を原案のとおり決することについて起立により採決（共産反対）

日程第4 意見案第4号ないし第7号

意見案第4号 泰東丸の確認調査と遺骨収集に関する要望意見書

意見案第5号 医療保険制度改革案に関する要望意見書

意見案第6号 昭和58年冷害対策に関する要望意見書

意見案第7号 冬期間の暖房代実費である「燃料手当（寒冷地手当）」を非課税扱いとする要望意見書

(説明及び委員会付託省略)

(採決)

1. 本件をいずれも原案のとおり決することについて簡易採決

日程第5 陳情審査の件（採択2件）

(委員長報告省略)

(採決)

1. 本件をいざれも陳情審査報告書（採
択）のとおり決することについて簡易
採決

○閉会中請願、陳情継続審査及び事務調
査の件

各常任委員長から申し出のとおり閉
会中継続審査または調査に付するこ
とについて簡易採決

○議長の閉会あいさつ

常任委員会

総務委員会

○9月27日（火） 午前11時12分、第5委員会室において開議、午前11時30分散会
委員長 川口 常人（自民）

請願・陳情の審査

陳情

第1号 鹿部村の町制施行の件（採択）

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した道内の行財政等調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 総務部長、開発調整部長、生活環境部長及び警察本部総務部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ③ 総務部長から、「昭和58年冷害対策本部」の設置及び9月24日から25日にかけての低気圧による胆振地方の大雪災害の状況について報告の後、

小野秀夫委員（道政）から、大雨災害に関し、道道の復旧に対する予算措置、かけ崩れ等の2次災害防止対策、地元関係市町村の災害復旧事業に対する財源措置、中小企業者に対する制度資金の活用方について質疑及び要望があり、総務部長から答弁。

○10月22日（土） 午後5時45分、第5委員会室において開議、午後6時1分散会
委員長 川口 常人（自民）

付託案件の審査

- ① 議案第9号（防災無線電話施設整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件）を議題とし、総務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第10号（空港整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件）を議題とし、開発調整部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。

③ 議案第15号（茅部郡鹿部村を鹿部町とする件）を議題とし、総務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。

④ 議案第16号ないし第21号（いずれも工事請負契約の締結に関する件）を一括議題とし、総務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。

⑤ 議案第24号（財産の処分に関する件）を議題とし、総務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については委員長に一任することとした。

請願・陳情の審査

陳情

第8号 冬期間の暖房代実費である「燃料手当」の非課税扱いを要望する件（採択）

残余の請願、陳情については、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

一般議事

- ① 委員長から、所管事務について閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、冬期間の暖房代実費である「燃料手当（寒冷地手当）」を非課税扱いとする要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
- ③ 人事委員会事務局長から、昭和58年職員の給与に関する報告及び給与改定に関する勧告について説明。

○10月24日（月） 午前10時22分、第5委員会室において開議、午前10時32分散会
委員長 川口 常人（自民）

一般議事

- ① 委員長から、道外における行財政等事情調査の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ② 柏倉勝雄委員（社会）から、道人事委員会勧告に関し、給与改定勧告に当たっての人事委員会の基本的考え方、勧告の取り扱いに対

する人事委員会の決意、人事委員会の勧告制度に対する認識、人事委員会の勧告実施の申し入れに対する決意について
質疑及び要望があり、人事委員会事務局長、総務部長から答弁。

○11月7日（月） 午前10時22分、第5委員会室において開議、午前10時23分散会
委員長 川口 常人（自民）

一般議事

- 委員長から、さきに実施した道内の行財政等調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。

厚生委員会

○9月27日（火） 午前11時16分、第9委員会室において開議、午後零時12分散会
委員長 星野 健三（社会）

一般議事

- ① 民生部長及び衛生部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
② 民生部長及び衛生部長から、9月24日から25日にかけての低気圧による胆振地方の大震災状況について報告の後、

大橋晃委員（共産）から、被害にあった登別厚生年金病院に関し、復旧の見通し及び援助方、病院を現在地で再開することの適否の検討方及び被災防止の対処方について要望。

- ③ 岩瀬正人委員（自民）から、樺太連盟の泰東丸第2次調査に関し、厚生省への報告結果、募金運動の名称、目的、目標額及び組織構成、寄付金問題の調査方

長岡寅雄委員（社会）から、ろうあ相談員、専任手話通訳者の研修に関し、報道記事の真びょう性、手話通訳者の身分保証に係る知事公約に対する受けとめ及び対処方、関係団体との連携の促進方

（関連して、大橋晃委員（共産）から、手話通訳者11名の配置状況、今後の配置計画及び

道行動計画との関連、手話通訳者の待遇の実態及び改善状況、今後の待遇改善の考え方、他府県や道内自治体の配置実態、知事公約の実現に対する考え方について）

質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁。

○10月22日（土） 午後5時48分、第9委員会室において開議、午後5時55分散会
委員長 星野 健三（社会）

開議に先立ち、委員長から9月28日の本会議において佐藤静雄委員（自民）が厚生委員に所属変更になった旨を報告。

付託案件の審査

- 議案第7号（北海道身体障害者更生援護施設設置条例の一部を改正する条例案）を議題とし、民生部長から説明の後、

大橋晃委員（共産）から、内部障害者更生指導所の移転に関し、通所対象者の対処策について

質疑があり、民生部長から答弁があって、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

- ① 委員の所属変更に伴う議席についてはかり、現在着席のとおりとすることに異議なく決定。
② 委員長から、泰東丸の確認調査と遺骨収集に関する要望意見案及び医療保険制度改革改正案に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
③ 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○10月24日（月） 午前10時20分、第9委員会室において開議、午前11時11分散会
委員長 星野 健三（社会）

一般議事

① 委員長から、泰東丸の確認調査と遺骨収集並びに医療保険制度改革案に関する中央折衝についてはかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

② 伊藤豪委員（自民）から、公衆浴場法の許可に関し、千歳の個室サウナ犯罪の内容、風紀に関する条項に係る指導の基本的な考え方、禁止区域に個室サウナの設置を許可した経緯及び理由、厚生省通達にかなう指導方、条件付き許可の条件の内容及び違反に対する取消しの考え方、個室サウナ設置規制の強化方、公衆浴場法施行規則第3条第1項違反による許可取消しの見解について

笠島保委員（社会）から、個室サウナの規制に関し、道の行政指導の基本的な考え方について

橋浪藏委員（自民）から、個室サウナの許可に関し、条例違反の建築確認・許可の理由、実態調査の有無、営業許可後の違反改修に対し取消す考え方、許可後の施設に対する適切な行政指導の推進方について

質疑及び要望があり、衛生部長から答弁。

○11月4日（金） 午後1時15分、第9委員会室において開議、午後1時30分散会

委員長 星野 健三（社会）

一般議事

① 委員長から、道外の厚生事情調査及び北畠碑慰靈祭の参列についてはかり、異議なく決定。派遣委員等については委員長に一任することとした。

② 衛生部長から、精神衛生実態調査について報告の後、

大橋晃委員（共産）から、精神衛生実態調査の実施に関し、本調査実施に反対する団体の質問状に対する回答の趣旨、他府県の実態、円滑な調査の実施方について
質疑及び要望があり、衛生部長から答弁。

商工労働委員会

○9月27日（火） 午前10時48分、第8委員会室において開議、午前10時55分散会
委員長 湯本 芳志（社会）

一般議事

- ① 商工観光部長から、昭和58年9月24日から25日にかけての低気圧による胆振地方の大雨災害状況について報告。
- ② 委員長からさきに実施した道内の商工労働事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ③ 商工観光部長及び労働部長から、第3回定期例会提出予定案件について説明。

○10月22日（土） 午後5時39分、第8委員会室において開議、午後5時42分散会
委員長 湯本 芳志（社会）

一般議事

- ① 委員長から「テクノポリス函館」の開発計画の承認に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から要望意見案に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ③ 委員長から、付託の請願・陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○10月24日（月） 午前10時41分、第8委員会室において開議、午前10時50分散会
委員長 湯本 芳志（社会）

一般議事

- 労働部長から、身体障害者及び高齢者雇用状況について報告。

○11月4日(金) 午後1時20分、第8委員会室
において開議、午後2時42分
散会
委員長 湯本 芳志(社会)

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した「テクノボリス函館」の開発計画の承認に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 委員長から、道内における商工労働事情調査の実施についてはかり、異議なく決定、派遣委員については、委員長に一任することとした。
- ③ 石川十四夫委員(道政)から、観光の振興について、本道における観光産業の位置づけ、他府県におけるビッグイベントと観光客誘致への影響及び対処方法、観光施設整備と誘致宣伝の努力、観光施設整備に対する助成策

久田恭弘委員(自民)から、(1)候ミツウマ再建策について、再建対策の概要、現在の操業の実態と今後の操業見通し、管財人の選任経過と更生計画の見通し、関連企業倒産防止対策及び関連倒産企業の有無、従業員の就労状況及び雇用調整助成金の活用状況及び適用期間、(2)小樽博覧会について、その計画の概要、道の援助対策、輸送体制、宿泊施設、小樽博と他の観光地との周遊啓発対策とこれに対する北海道観光連盟の取り組み、道産品愛用運動と販路拡大対策

輪島幸雄委員(社会)から、高度技術に立脚した工業開発計画について、作成内容、作成にあたっての組織体制及び今後のスケジュール、通産省に指摘された集積熟度、基金協会の開発計画での位置づけ・内容・設立時期・事業主体及び運営、工業技術センターの開発計画における位置づけ・機能・事業主体及び運営

佐々木利昭委員(自民)から、中小企業融資制度の金利の問題について、融資金利(未端金利)の引下げの予定について質疑、意見及び要望があり、商工観光部長及び労働部長から答弁。

農務委員会

○9月27日(火) 午前10時36分、第7委員会室
において開議、午後零時3分
散会
委員長 寺崎 政朝(自民)

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した道内農業事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 委員長から、昭和58年産畑作物価格等に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
- ③ 委員長から、要望意見案並びに水田利用再編第3期対策に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ④ 農務部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ⑤ 農務部長から、農作物減収被害の見込みについて説明の後、
青山章委員(自民)から、霜対策に関し、緊急の場合の自衛隊出動要請
相沢武彦委員(公明)から、適確な気象情報体制、くん煙以外の予防策、古タイヤ、ワラ等の補充等
- 大野新生委員(道政)から、自衛隊の発煙灯の効果
三沢道男委員(社会)から、酪農関係被害の把握、乳肉用牛の公正販売体制の確立について
質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。
- ⑥ 農務部長から、農業発展方策に係る審議会答申について説明の後、
三沢道男委員(社会)から、成案となる時期、農業団体の長期構想との係わり
神本三也委員(社会)から、議会としての対応
吉野之雄委員(社会)から、さきに開催した協議会の位置づけについて
質疑があり、農務部長から答弁。
- ⑦ 三沢道男委員(社会)から、家畜人工授精

の精液の流通改善、共進会の体質・体制改善に係る道の指導等

青山章委員（自民）から、水田利用再編第三期対策と他用途米の折衝経過、転作奨励補助金カット等の情報把握について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

○10月22日（土） 午後5時44分、第7委員会室において開議、午後5時47分散会

委員長 寺崎 政朝（自民）

付託案件の審査

○ 議案第8号（主要農作物種子法の実施に関する条例の一部を改正する条例案）を議題とし、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

○ 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○10月24日（月） 午前10時21分、第7委員会室において開議、午前10時25分散会

委員長 寺崎 政朝（自民）

一般議事

① 委員長から、さきに実施した昭和58年産畑作物価格等及び水田利用再編第三期対策に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。

② 農務部長から、昭和58年産畑作物価格等について報告。

○11月4日（金） 午後1時9分、第7委員会室において開議、午後1時21分散会

委員長 寺崎 政朝（自民）

一般議事

① 委員長から、さきに実施した水田利用再編第三期対策に関する中央折衝の概要について

報告書により報告、異議なく了承。

建設委員会

○ 9月27日（火） 午前10時37分、第4委員会室において開議、午前11時15分散会

委員長 古川 靖晃（自民）

一般議事

① 土木部長及び住宅都市部長から、第3回定期例会提出予定案件について説明。

② 土木部長及び住宅都市部長から、9月24日から25日にかけての低気圧による胆振地方の大震災の状況について報告の後、

吉川貴盛委員（自民）から、集中豪雨の予測及び現地住民への対応状況、災害復旧の見通しについて

質疑があり、土木部長及び住宅都市部長から答弁。

③ 伊達忠一委員（道政）から、苫小牧港シフトバースに関し、現在までの経過に対する認識、管理組合第2回定期例会における副管理者の発言に対する見解及び道の方針

（関連して、櫻林巖委員（社会）から、道と港湾管理者との確認事項に基づいた現地との意志疎通の必要性及び十分な指導、協議方について）

質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁。

○10月22日（土） 午後5時43分、第4委員会室において開議、午後5時48分散会

委員長 古川 靖晃（自民）

付託案件の審査

○ 議案第5号（北海道公共下水道条例案）、議案第11号（流域下水道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件）及び議案第22号（財産の取得に関する件）を順次議題とし、住宅都市部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

- 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○10月24日（月） 午前10時42分、第4委員会室において開議、午前10時45分散会
委員長 古川 靖晃（自民）

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した道内の建設事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 委員長から、道外における建設事情調査の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

○11月7日（月） 午前10時36分、第4委員会室において開議、午前10時44分散会
委員長 古川 靖晃（自民）

一般議事

- 土木部長から、昭和58年度除雪事業計画の概要について説明の後、
佐々木豊委員（自民）から、開発局所管の除雪道路延長が前年度より少ない理由
平井進委員（自民）から、市町村道の除雪に関し、歩道の除雪が十分でない危険箇所に係る除雪の指導方について
質疑、要望があり、土木部長から答弁。

農地開発委員会

○9月27日（火） 午前10時38分、第3委員会室において開議、午前10時46分散会
委員長 中川 隆之（道政）

一般議事

- ① 農地開発部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ② 農地開発部長から、9月24日から9月25日にかけての低気圧による胆振地方大雨災害の

概要について報告。

○10月22日（土） 午後5時35分、第3委員会室において開議、午後5時37分散会
委員長 中川 隆之（道政）

一般議事

- 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○10月24日（月） 午前10時33分、第3委員会室において開議、午前10時40分散会
委員長 中川 隆之（道政）

一般議事

- ① 農地開発部長から、道営工事の上期における発注実績について説明。
- ② 委員長から、第三期水田利用再編に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ③ 委員長から、さきに実施した道外調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。

○11月7日（月） 午後1時11分、第3委員会室において開議、午後1時19分散会
委員長 中川 隆之（道政）

一般議事

- ① 農地開発部長から、昭和58年農地、農業用施設災害の被害と措置状況について報告。
- ② 委員長から、さきに実施した水田利用再編第三期対策に関する中央折衝の概要について報告、異議なく了承。
- ③ 委員長から、道内における農業基盤整備事業調査の実施についてはかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

水産委員会

○9月27日（火） 午前10時59分、第6委員会室において開議、午前11時14分散会
委員長 佐藤 静雄（自民）

一般議事

- ① 水産部長から、韓国漁船問題に関する知事訪韓について報告。
- ② 水産部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ③ 委員長から、さきに実施した道外の水産事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ④ 副委員長から、佐藤静雄委員長（自民）から委員長辞任願いが提出されている旨を報告の後、委員長辞任についてはかり、異議なく許可することに決定。

○9月28日（水） 午前11時4分、第6委員会室において開議、午前11時9分散会
委員長 中崎 昭一（自民）

開議に先立ち、副委員長から9月28日の本会議において、佐藤静雄委員が厚生委員に所属変更されたことに伴い、中崎昭一委員が水産委員に補充された旨を報告。

委員長の互選

○ 副委員長から、委員長互選の方法についてはかり、高橋庸委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって、中崎昭一委員（自民）を委員長に選出。

○10月22日（土） 午後5時46分、第6委員会室において開議、午後6時散会
委員長 中崎 昭一（自民）

付託案件の審査

- ① 議案第6号（北海道水産加工経営改善強化資金金融通助成事業基金条例案）を議題とし、水産部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第12号（沿岸漁場整備開発事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件）及び議案

第13号（漁港修築事業等に伴う地方公共団体の負担金に関する件）を一括議題とし、水産部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

- ① 委員長から、議席についてはかり、異議なく現在着席のとおりとすることに決定。
- ② 委員長から、さきに実施した日韓漁業問題に関する中央折衝の概要について口頭で報告、異議なく了承。
- ③ 水産部長から、日韓政府間暫定取り決め交渉の結果について報告。
- ④ 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○10月24日（月） 午前10時38分、第6委員会室において開議、午前10時41分散会
委員長 中崎 昭一（自民）

一般議事

○ 委員長から、道内における水産事情調査の実施についてはかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

○11月4日（金） 午後1時13分、第6委員会室において開議、午後1時30分散会
委員長 中崎 昭一（自民）

一般議事

- ① 水産部長から、道立水産ふ化場熊石支場の概要について報告。
- ② 酒井芳秀委員（自民）から、日韓政府間交渉の内容、監視、取締り体制の改善・強化の方途、漁業水域法の適用について質疑及び要望があり、水産部長から答弁。

委員長 岩田 徳弥（自民）

文教林務委員会

○9月27日（火） 午前10時41分、第10委員会室において開議、午前10時52分散会

委員長 岩田 徳弥（自民）

一般議事

- ① 教育長及び林務部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ② 教育長及び林務部長から、9月24日から25日にかけての低気圧による胆振地方の大雪災害の状況について報告。

本日聴取した陳情

厚真高等学校の道立移管について

厚真町長

○10月22日（土） 午後5時45分、第10委員会室において開議、午後5時54分散会

委員長 岩田 徳弥（自民）

付託案件の審査

- ① 議案第14号（林道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件）を議題とし、林務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第23号（財産の取得に関する件）を議題とし、教育長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ③ 報告第1号（専決処分報告につき承認を求める件）を議題とし、教育長から説明の後、異議なく承認議決とすることに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

- 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをばかり、異議なく決定。

○10月24日（月） 午前10時24分、第10委員会室において開議、午前10時25分散会

一般議事

○ 委員長から、道外における文教林務事情調査の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

○11月4日（金） 午前11時34分、第10委員会室において開議、午前11時36分散会

委員長 岩田 徳弥（自民）

一般議事

○ 委員長から、本日委員会終了後、石狩管内における教育施設調査の実施についてはかり、異議なく決定。

本日聴取した陳情

北海道上ノ国高等学校の道立移管について

上ノ国町ほか3町高等学校組合組合長

○11月29日（火） 午後1時15分、第10委員会室において開議、午後1時52分散会

委員長 岩田 徳弥（自民）

一般議事

○ 教育長から、昭和59年度公立高等学校適正配置計画及び公立特殊教育諸学校配置計画に関する説明の後、

伊藤弘委員（自民）から、私学の欠員の実態に対する考え方、61年度以降中卒者の減少時における私学対策、職業教育及び定時制教育の振興策

西尾六七委員（自民）から、計画案及び特殊教育の新設校の生徒募集に対する考え方

菊地芳郎委員（社会）から、公立高校新設の際の立地条件、中卒者の増加が著しい地域の間口の問題、定時制高校の募集停止について

質疑及び要望があり、教育長から答弁。

特 別 委 員 会

総合開発調査特別委員会

○ 9月27日（火） 午後2時43分、第1委員会室において開議、午後3時4分散会

委員長 武部 勤（自民）

- ① 開発調整部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ② 委員長から、さきに実施した昭和59年度北海道開発関係予算に関する中央折衝並びに道内の開発事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ③ 委員長から、道外調査の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ④ 開発調整部長から、昭和59年度北海道開発関係予算要求の概要について説明。
- ⑤ 開発調整部長から、北海道総合開発長期展望調査の内容について説明の後、
小野秀夫委員（道政）から、茨城県大洗港と本道を結ぶカーフェリー問題に関し、道の態度決定の時期について
質疑があり、開発調整部長から答弁。
⑥ 副委員長から、武部勤委員長（自民）から、委員長辞任願いが提出されている旨を報告の後、委員長辞任についてはかり、異議なく許可することに決定。

○ 9月28日（水） 午前11時14分、第1委員会室において開議、午前11時27分散会

委員長 笹浪 幸男（自民）

- 副委員長から、9月27日付けの武部勤委員（自民）の辞任に伴い、本日の本会議において、笹浪幸男委員（自民）が補充選任された旨報告。

委員長の互選

- ① 副委員長から、委員長互選の方法についてはかり、輪島幸雄委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって、笹浪幸男委員（自民）を委員長に選出。

- ② 委員長から、議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。

石炭対策特別委員会

○ 9月27日（火） 午後2時40分、第11委員会室において開議、午後2時44分散会

委員長 伊藤 豪（自民）

一般議事

- 商工観光部長及び労働部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。

○ 10月24日（月） 午後1時5分、第11委員会室において開議、午後3時56分散会

委員長 伊藤 豪（自民）

- ① 委員長から、笹浪幸男委員（自民）の委員辞任に伴い、後任に武部勤委員（自民）を補充選任した旨通知があったことを報告。
- ② 委員長から、議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。
- ③ 労働部長から、北炭夕張新炭鉱閉鎖離職者の帰すう状況について報告。
- ④ 委員長から、石炭鉱業振興状況把握のための道外調査の実施についてはかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ⑤ 藤井虎雄委員（社会）から、(1)3定本会議における佐々木利昭議員（自民）の質問に対する知事答弁の主旨 (2)内陸石炭火力の発電消費計画と滝川発電所の発電消費量との関係等について
(関連して宇川源吉委員（自民）から滝川発電所の存続に対する見通し等について)
質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。

北方領土対策特別委員会

○ 9月27日（火） 午後1時56分、第3委員会室において開議、午後2時5分

散会

委員長 野村 権作（自民）

- ① 委員長から、さきに実施した北方領土の復帰促進等に関する調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 領対本部長から、「北方領土返還要求のつどい」の開催等について報告。
- ③ 委員長から、北方領土返還要求のつどい並びに他府県議会に対する北方領土返還の決議要請のため、本委員会から委員を派遣することをはかり異議なく決定。派遣委員等については委員長に一任することとした。

○10月24日（月） 午前11時19分、第3委員会室において開議、午前11時24分
散会

委員長 野村 権作（自民）

- ① 領対本部長から、昭和58年度北方領土返還促進国連使節団の派遣について報告。
- ② 領対本部長から、北方領土隣接地域振興等基金について報告。

公害対策特別委員会

○9月27日（火） 午後2時9分、第2委員会室において開議、午後2時18分
散会

委員長 佐々木行雄（自民）

- ① 委員長から、さきに実施した道内公害事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 生活環境部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ③ 生活環境部長から、稚内空港整備事業及び滝里ダム建設事業の環境影響評価実施状況について報告。
- ④ 生活環境部長から、水質汚濁に係る環境基準の水域類型指定について報告。

冷害対策特別委員会

○10月11日（火） 午後零時28分、第1委員会室

において開議、午後零時51分

散会

委員長 大平 秀雄（自民）

正副委員長の互選

- ① 作田政次臨時委員長（自民）から、委員長互選の方法についてはかり、吉野之雄委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって大平秀雄委員（自民）を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法についてはかり、佐々木行雄委員（自民）の動議により指名推選の方法をもって、神本三也委員（社会）を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため、午後零時33分休憩、午後零時35分再開。本委員会の運営については、自民及び社会から各2名、道政及び公明から各1名、計6名の理事を選び、その協議によりこれを行うことをはかり、異議なく決定。理事には、佐々木行雄委員（自民）、青山章委員（自民）吉野之雄委員（社会）、大島一郎委員（社会）大野新生委員（道政）及び伊藤武一委員（公明）をそれぞれ選出。

その他の議事

- ① 知事から、農作物の被害状況等について説明。
- ② 農務部長から、本年度の気象と農作物の生育の経過及び被害の概要について説明。
- ③ 委員長から、冷害の現地調査並びに冷害対策に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ④ 議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。

○10月22日（土） 午後6時10分、第11委員会室において開議、午後6時22分
散会

委員長 大平 秀雄（自民）

- ① 委員長から、さきに実施した道内の冷害状況現地調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 委員長から、昭和58年冷害対策に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。

- ③ 農務部長から、農作物の生育状況等について報告。

○11月4日（金） 午後2時29分、第1委員会室において開議、午後3時11分散会

委員長 大平 秀雄（自民）

① 委員長から、さきに実施した冷害対策に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。

② 農務部長から、冷害による農作物被害状況について報告。

③ 総務部長、農務部長、林務部長、農地開発部長、土木部長、労働部長、開発調整部長、商工観光部長、民生部長、生活環境部長、教育庁管理部長及び警察本部総務部長から、昭和58年冷害に係る対策措置状況について報告の後、

大島一郎委員（社会）から、季節労働者、農産加工業者等に対する影響、

平井進委員（自民）から、水稻、豆類の採取用種子確保について

質疑があり、労働部長、商工観光部長及び農務部長から答弁。

④ 委員長から、冷害対策に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

会）を副委員長に選出。

⑤ 本委員会の今後の運営等について協議のため午後3時57分休憩、午後3時58分再開。休憩中協議の結果付託案件に対する審査方法について、2分科会を設置し質疑を行うこととし、第1分科会は委員15人、所管は総務部、開発調整部、生活環境部、公安委員会、人事委員会、出納局、監査委員、民生部、衛生部及び企業局、第2分科会は委員15人、所管は商工観光部、労働部、土木部、住宅都市部、農務部、農地開発部、水産部、林務部及び教育委員会とすること、各委員会に付託する案件は配付の付託議案一覧表のとおりとすること、各分科会における質疑保留事項に対する総括質疑は、本委員会において行うことをはかり異議なく決定。

⑥ 各分科会の委員の選任についてはかり、異議なく配付の委員名簿のとおり選任することに決定。

○第1分科委員（15人）

神戸 典臣（自民）	酒井 芳秀（自民）
出村 勝彦（自民）	伊藤 武一（公明）
大平 盛雄（社会）	高橋 庸（社会）
谷川 英雅（社会）	一野坪 勉（社会）
中川 隆之（道政）	木本 由孝（自民）
土屋 良三（自民）	橋 浪藏（自民）
伊藤 豪（自民）	長岡 寅雄（社会）
宇野 真平（自民）	

○第2分科委員（15人）

大内 良一（社会）	大野 新生（道政）
木戸浦隆一（自民）	操上 良宏（自民）
綿貫 健輔（自民）	菊地 芳郎（社会）
小田原要四蔵（社会）	工藤 啓二（公明）
岩本 尤（自民）	佐々木行雄（自民）
山口 真人（自民）	寺崎 政朝（自民）
萩上 元春（社会）	吉田 英治（社会）
野村 権作（自民）	

⑦ 各分科会に分科委員長のほか分科副委員長1名を置くこと、分科委員の辞任及び補充選任並びに所属変更については本委員長において行うことについてはかり、異議なく決定。

⑧ 委員長から、付託案件の審査日程についてはかり、異議なく配付の日程表のとおりとすることに決定。

予算特別委員会

○10月17日（月） 午後3時51分、第1委員会室において開議、午後4時2分散会

委員長 和田 勝之（自民）

正副委員長の互選

① 野村権作臨時委員長（自民）から、委員長互選の方法についてはかり、小田原要四蔵委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって和田勝之委員（自民）を委員長に選出。

② 委員長から、副委員長互選の方法についてはかり、土屋良三委員（自民）の動議により指名推選の方法をもって吉田英治委員（社

- ⑦ 質疑の方法等について、通告の形式により一括して行うこと、一問一答方式により行う場合は委員長に申し出ること、発言の順位は本会議における一般質問に準ずることをはかり、異議なく決定。
- ⑧ 議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。
- ⑨ 本委員会の運営について、正副委員長及び各分科正副委員長をもって構成する理事会を設置しその協議により運営すること及び正副委員長の配分のない会派についても理事会に出席願うことについてはかり、異議なく決定。

第1分科会

○10月17日（月） 午後4時5分、第1委員会室において開議、午後4時14分
散会
第1分科委員長
土屋 良三（自民）

正副委員長の互選

- ① 指名推選の方法により、分科委員長に土屋良三委員（自民）、分科副委員長に一野坪勉委員（社会）をそれぞれ選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑方法等について協議決定した。
- ③ 本分科会の運営について、自民、社会、道政及び公明各1名計4名の理事を選び、その協議により行うことをはかり、異議なく決定。理事には、木本由孝委員（自民）、大平盛雄委員（社会）、中川隆之委員（道政）及び伊藤武一委員（公明）をそれぞれ選出。
- ④ 委員外議員の発言の取り扱いについて、その都度分科会にはかり決定することとした。
- ⑤ 議席について、配付の議席表のとおりとすることに決定。

○10月18日（火） 午後1時20分、第1委員会室において開議、午後4時55分
散会
第1分科委員長
土屋 良三（自民）

- ① **衛生部所管に対する質疑**に入り、

増井 貞一郎委員（自民）から、

- (1) 北海道保健医療基本計画に関し、地域センター病院の指定状況、指定が遅れている理由と今後の指定見通し
- (2) 道立病院の経営問題に関し、最近の市町村立病院の決算状況と赤字の原因、市町村のモデルとなるべき道立病院の赤字実態と原因、道立病院経営健全化の努力、医師の確保と定着対策、管理機能の強化とその待遇改善策、道立病院経営の専門的機関による徹底分析の考え方、
- (3) エキノコックス症対策に関し、エキノコックス症患者の地域別状況、エキノコックスの人体への感染経路とその症状、汚染確認地域の指定経緯と汚染拡大の実態把握、網走市など5市町のエキノコックス予防対策、犬、キツネなど媒介動物対策、飲料水対策と住民への周知。
- (4) 屠畜検査に関し、と畜検査員1人当たりの検査頭数と検査の効率化、と畜検査手数料について

谷川 英雅委員（社会）から、

- 廃棄物行政に関する対策と産業廃棄物監視指導費の内容、道内におけるごみ及び尿尿の排出状況及び処理状況、道内におけるごみ及び尿尿処理施設の整備状況と今後の整備対策ごみの原料化、有効利用等の指導について質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁があつて、衛生部及び企業局所管に対する質疑を終結。

② **民生部所管に対する質疑**に入り、

岩瀬 正人委員（自民）から、

- 泰東丸の搜索に関し、泰東丸の搜索費補助金額の算定根拠、泰東丸募金集めの組織及び内容、全額補助をしない理由、募金の成果とそれに伴う国への要請の対処方、

木本 由孝委員（自民）から、

- (1) 身体障害者のスポーツに関し、身障者のスポーツの現状と振興策、身障者スポーツ全国大会数と主要種目、団体戦の参加資格及び団体競技の組織現況、各種種目の組織化されない原因、身障者スポーツ協会等の他府県の設立状況と事業内容等、公益法人身障者スポーツ協会設立の効果、身障者の

スポーツ振興を今後も民生部で所管する考え方等について

- (2) 在宅福祉サービス事業に関し、在宅福祉サービスモデル事業のねらいと実施状況、モデル事業を昭和60年度において検討することの内容、従来のモデル地区への助成継続の考え方、社会福祉施設の活用方法、デー・サービス事業の小型版を道で実施する考え方、個人住宅を持つ時代に対応した在宅福祉の拡充について

伊達 忠一委員（道政）から、

リハビリセンターの施設整備に関し、リハビリーテーション施設の必要性、重度身体障害者更生援護施設の入所状況、リハビリ施設の偏在対策、リハビリー施設利用者の出身地別状況、第2期福祉長計と今後の福祉施設整備との関連及び見直し、民間社会福祉法人設立に対する道の指導強化策、社会福祉施設における専門技術者の確保対策等について

質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁があつて民生部所管に対する質疑を終結。

○10月19日（水） 午前10時33分、第1委員会室において開議、午後5時6分
散会

第1分科委員長

土屋 良三（自民）

① 生活環境部所管に対する質疑に入り、

酒井 芳秀委員（自民）から、

- (1) 消費者保護に関し、消費生活に関する相談件数の増加原因と相談内容、訪問販売に係る相談件数と処理状況及び今後の対応策、海外商品先物取引に係る被害対策、消費者センターの役割りと今後の設置計画

- (2) 合成洗剤の使用規制に関し、札幌市における合成洗剤使用禁止に係る条例制定直接請求運動に対する受けとめ方、水に溶けやすい石けんの開発、道及び出先機関が合成洗剤の自主規制を行う考え、合成洗剤による被害と今後人体への影響等を研究することに対する見解等について

出村 勝彦委員（自民）から、

- (1) ナショナル・トラスト運動に関し、ナシ

ヨナル・トラスト運動に対する評価、土地取得上の援助措置、税制上の優遇措置等この運動に対する助長策

- (2) 緑の確保に関し、緑化事業に対する基本的な考え方、緑化推進のための体制整備の必要性、緑化指針の性格、実効性確保のための年次計画、事業実施計画の策定の必要性、緑化推進特別事業の内容、緑化条例制定に対する見解

- (3) スパイクタイヤ公害に関し、スパイクタイヤによる道路摩耗、粉じん実態調査等の把握状況、スパイクタイヤ問題対策協議会での検討内容、ペータ線吸収方式粉じん計の導入の考え方等について

質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁があつて生活環境部所管に対する質疑を終結。

② 開発調整部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、大橋晃議員（共産）の本分科会への出席及び開発調整部所管に対する発言の申し出について、委員の通告質疑終了後これを許可することについてはかり、異議なく決定の後、

伊藤 豪委員（自民）から、

先端技術の導入に関し、大学、企業、民間の研究機関等の連携強化の方途、各試験研究機関におけるバイオテクノロジーの研究開発の状況、遺伝子の組みかえ等による生物・自然環境への影響の有無及び安全確保の方策、本道におけるバイオテクノロジー産業の展開と可能性、総合的な研究体制の整備に対する見解、高度情報通信システムの導入に係るプロジェクトチームの構成、検討内容等について

小野 秀夫委員（道政）から、

- (1) 長距離カーフェリーに対する実情調査に
関し、本調査に基づき運輸省、茨城県に対
し早急に働きかる必要性、
(2) 苦東開発に関し、次期段階計画の策定見
通しと開発庁における検討状況、道発展計
画との整合性、当初計画における苦東E地
区の立地想定及び今後の臨空港型工業導入
の地域想定、苦東への臨空港型工業誘致に
よる地方空港隣接の内陸工業団地への企業
誘致を阻害するおそれ、地域の均衡ある発

展の理念との関連等について
大橋 見議員（共産）から、

苫東開発に関し、第2段階計画の進捗状況と計画遅延の原因、道の段階計画調査検討委員会の検討内容、開発庁の開発推進委員会における検討状況、いすゞの雇用計画と雇用状況、今後の企業立地の見通し等について質疑、意見及び要望があり、開発調整部長から答弁があつて開発調整部所管に対する質疑を終結。

○10月20日（木） 午前10時38分、第1委員会室において開議、午後3時26分閉会
第1分科委員長
土屋 良三（自民）

① 人事委員会所管に対する質疑に入り、

小野寺 勇委員（自民）から、

(1) 職員の給与問題に関し、職務給の原則及び成績主義の原則に対する考え方、初任給等規則第44条を全て承認した理由、昭和40年代においても承認した理由及びその要因の背景等、勧告内容と付記事項の有無、昭和57年に特例措置を廃止した理由、初任給規則第44条の今後の運用方針及びわたりの考え方、任命権者と職員団体の交渉と人事委員会の係わりについて

(2) 勤務成績の評定に関し、規則の制定等を実施しなかった理由、昭和27年の勧告以来の勤務評定の実態について

(3) 地公法第25条第2項に関連して、法定控除以外の控除の実態及び対処方、組合費は法定控除かどうかの見解及び天引きの適否について

質疑、意見及び要望があり、人事委員会事務局長から答弁があつて人事委員会所管に対する質疑を終結。

② 公安委員会所管に対する質疑に入り、

工藤 啓二委員（公明）から、

(1) 海外商品先物取引に関し、商品先物業者の実態、道警に持ち込まれる苦情件数と内容、警察へ相談に来る人の年齢、職業別状況等、相談窓口の改善と拡充策、取引業者の攻勢に対する対策、最近の海外取引詐欺事件の概要と事件の特徴、この種事件の対処方針について

質疑、意見及び要望があり、警察本部防犯部長から答弁があつて公安委員会所管に対する質疑を終結。

③ 総務部所管に対する質疑に入り、

中川 義雄委員（自民）から、

地公法上の解釈に関し、地公法第55条の書面協定と労組法上の労働協約との性格の違い、書面協定における労使双方の道義的責任と議会に対する責任との優劣について

小野寺 勇委員（自民）から、

(1) 給与問題に関し、行政職5等級の特例措置運用に対する見解、行政職5等級の特例措置の廃止と確認書の内容、主任等への任用基準、主任発令する場合の主要な要件、主任制度採用の適法性、関係職員団体との種問題での確認書、覚書の有無、わたり適正化の考え方について

(2) 法定控除以外の控除に関し、法律、条例により控除が認められているものの根拠、法定控除以外の別途納付金の種類と取扱い、状況、北海道職員の共済制度に関する条例第5条に規定する業務の範囲と職員の選考等の考え方、職務専念義務免除手続についての考え方、組合費納付取扱いの実態、組合費天引き改善の意思等について

(3) 勤務評定に関し、勤務の評価と昇給、昇格の手続、手順、昭和27年の人事委員会勧告と内容の違う理由、勤務評定のできない理由及び前向きに検討する考え方について

(4) 定年制に関し、定年制導入に対する基本的考え方と現在までの状況、定年制条例化の時期等について

山口 真人委員（自民）から、

教育問題に関し、望ましい教育に対する見解、小樽市の教育について三領域が実施されていない実態承知の有無、小樽市の三領域調査に入った社会党調査団の調査結果等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長及び審議室長から答弁があつて総務部所管に対する質疑を終結。

④ 分科委員長から、付託案件に対する審査結果報告について、分科委員長に一任されたい旨をはかり、異議なく決定。

第 2 分 科 会

○10月17日（月） 午後4時5分、第2委員会室において開議、午後4時15分

散会

第2分科委員長

小田原 要四蔵（社会）

正副委員長の互選

- ① 指名推選の方法により、分科委員長に小田原要四蔵委員（社会）、分科副委員長に岩本允委員（自民）を選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑の方法等について協議、決定した。
- ③ 本分科会の運営について、自民、社会、道政及び公明各1名計4名の理事を選びその協議により行うことをはかり、異議なく決定。理事には、山口眞人委員（自民）、菊地芳郎委員（社会）、大野新生委員（道政）及び工藤啓二委員（公明）をそれぞれ選出。
- ④ 委員外議員の発言の取り扱いについて、その都度分科会にはかり決定することとした。
- ⑤ 議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。

○10月18日（火） 午後1時25分、第2委員会室において開議、午後4時24分

散会

第2分科委員長

小田原 要四蔵（社会）

① 土木部所管に対する質疑に入り、

国本 康夫委員（自民）から、

- (1) スパイクタイヤ公害対策に関し、スパイクタイヤによる舗装の損耗と補修費の額、スパイクレスタイヤの研究開発の現状、スパイクタイヤ問題対策協議会の協議事項、スパイクタイヤの使用期間の指導規制に対する取り組み、道の公用車にスパイクレスタイヤを使用する考え方と市町村に対する指導
- (2) 都市河川の整備に関し、道内における都市河川の整備現況、普通河川の整備の遅れと年次別整備計画策定の必要性、本年9月の胆振地方の豪雨災害の原因と今後の防災対策、札幌市周辺の河川改修の状況と今後

の対策、豊平川上流の砂防事業の全体計画と進捗状況、札幌市東部地域における総合的な治水対策の推進、河川の維持管理費の確保等について

質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁があつて土木部所管に対する質疑を終結。

② 住宅都市部所管に対する質疑に入り、

分科副委員長から大橋晃議員（共産）の本分科会への出席及び住宅都市部所管に対する発言の申し出について、委員の通告質疑終了後これを許可することをはかり、異議なく決定の後、

久田 恒弘委員（自民）から、

- (1) 都市計画事業に関し、緑のマスタープラン策定の目的、対象箇所と策定スケジュール、都市の環境アンケート調査の内容、結果の集計時期、都市カルテの作成目的と内容、分区闘争地事業の内容と今後の取り組み、市街化区域内の農地の現況、道内における都市計画法の適用状況、地方都市整備調査の目的と概要
- (2) 下水道事業に関し、道の下水道整備計画と進捗状況、小規模下水道事業の推進方策、下水道の維持管理体制の強化、下水汚泥の処理対策、下水道事業に係る財源確保策、石狩湾新港地域 公共下水道事業の概要、特定事業所からの下水の排出基準、下水道料金の算定の考え方と算定方法、事業の収支計画、公社等を設立し管理することに対する見解等について

大橋 晃議員（共産）から、

石狩湾新港地域公共下水道に関し、事業の進捗状況、企業進出の現況と今後の見通し、使用料の試算、石狩湾新港計画のマスタープランの見直しと下水道計画の整合性等について

質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁があつて住宅都市部所管に対する質疑を終結。

○10月19日（水） 午前10時32分、第2委員会室において開議、午後5時52分

散会

第2分科委員長

小田原 要四蔵（社会）

① 林務部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、坂下堯議員（無所属）、大橋晃議員（共産）の本分科会への出席及び林務部所管に対する発言の申し出について、委員の通告質疑終了後これを許可することをはかり、異議なく決定の後、

小田部 善治委員（自民） から、

林産業の振興に関し、林産業の現状把握、国が木材需給見通しを改定した理由、本道の木材需給見通しの点検内容と見直しの考え方、木材需要の拡大対策、カラマツ材の普及、木材関連企業の倒産原因と負債総額、今後の倒産防止対策、製材業及び合板業の構造改善の経緯及び道の指導、製材工場の適正配置に対する考え方、林産業の構造改善の具体的推進策等について

坂下 堯議員（無所属） から、

製材業対策に関し、製材工場の過剰設備に対する対処策、輸送コストの低減のための工場の適正立地に対する見解、木工場の適正規模の検討、針葉樹製材業界の経営悪化の現状と資金対策への取り組み等について

大橋 晃議員（共産） から、

日高大規模林道に関し、道路完成時における経済効果、完成目標年次における林業就労者数、木材関連産業への影響、民有林に対する受益者負担の内容、維持管理の形態、地域振興及び交通体系の整備に係る対応策等について

質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁があつて、林務部所管に対する質疑を終結。

② 農務部所管に対する質疑に入り、

分科副委員長から、坂下堯議員（無所属）からの本分科会への出席及び農務部所管に対する発言の申し出について、委員の通告質疑終了後これを許可することをはかり、異議なく決定の後、

操上 良宏委員（自民） から、

(1) 水稲の共済制度に関し、共済の損害評価に当たっての特例措置とこれまでの適用事例、実態に即した特例措置となるよう改善方、共済金の早期支払いの必要性

(2) タマネギの価格安定対策に関し、本年度のタマネギの生産量と価格の動向、価格補

給金の交付実績と枠拡大の必要性

- (3) 水田転作第3期対策に関し、第3期対策に対する取り組み姿勢、他用途米の取り扱い、減反目標面積の配分見直しを国に要請する考え
- (4) 道農業発展方策に関し、本道農業の位置づけと主要農産物のシェア、農産物の生産コスト低減策、生産性向上のための試験研究に対する取り組み、肉用牛の生産コスト低減の具体策、道産農産物の販路拡大対策、農産加工研究の現状と今後の取り組み農業改良普及所の指導体制の強化等について

工藤 啓二委員（公明） から、

- (1) 稲作対策に関し、農業発展方策における水稻の作付目標面積の確保策、良質米育成の現状
- (2) 農業協同組合の運動に関し、農協の事業活動のあり方及び道の指導の基本的考え方等について

坂下 堯議員（無所属） から、

- (1) 冷害対策に関し、根釧、宗谷管内における冷害の実態把握、本年の冷害を考慮した負債整理対策
- (2) 毛皮産業の振興に関し、ミンクの飼育戸数と経営規模、ミンク産業の振興に対する所見、原毛皮の品質向上と疾病対策、価格形成の現状と今後の対策等について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁があつて農務部所管に対する質疑を終結。

○10月20日（木） 午前10時39分、第2委員会室において開議、午後5時18分散会

第2分科委員長

小田原 要四蔵（社会）

① 水産部所管に対する質疑に入り、

久田 恒弘委員（自民） から、

- (1) 毛ガニ資源保護対策に関し、毛ガニ漁業の操業海域、漁獲高の推移と資源の動向、カニの密漁、違法採捕等の状況と検挙件数及び今後の取り締まりの強化、カニのふ化増殖に対する積極的な取り組み方
- (2) 磯焼け対策に関し、磯焼けの原因究明の

ための研究体制、磯焼け対策の実施状況

- (3) サクラマスの資源増大対策に関し、サクラマスの人工ふ化事業の現況、人工種苗生産体制の強化策等について

中川 隆之委員（道政）から、

日本海沿岸漁業の振興対策に関し、日本海地域における沿岸漁業の資源増大に対する対処策、日本海地域における漁協の経営安定策、入漁料方式によるソ連海域における操業拡大に対する見解、魚道設置のあり方、アワビの密漁取り締まりの強化等について

質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁があり、水産部所管に対する質疑を終結。

② 農地開発部所管に対する質疑に入り、

青山 章委員（自民）から、

農業基盤整備事業に関し、事業費の漸減傾向に対する受けとめ方、継続事業の早期完成、第3次土地改良長期計画における本道枠の確保、農業基盤整備事業の工事単価の上昇傾向と抑制策、圃場整備事業の採択基準の緩和、基盤整備事業の効果に対する認識、今後の土地改良事業の実施に伴う農家負担の想定額と負担軽減策、土地改良資金の融資条件の緩和に対する見解等について

質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁があって農地開発部所管に対する質疑を終結。

③ 労働部所管に対する質疑に入り、

伊藤 豪委員（自民）から、

職業訓練に関し、先端技術産業に対応する職業訓練のあり方、職業訓練校の応募・入校状況、先端技術産業の導入に伴う科目設置の考え方、雇用促進事業団立の職業訓練校の転換計画とこれに伴う道立職訓の受入れ体制、老朽職訓校の施設整備計画、実習機械の整備計画の進捗状況、職業訓練指導員の研修の充実、職業訓練研究センターの設置構想、訓練生の就職状況と明年度の見通し等について

質疑、意見及び要望があり、労働部長から答弁があって、労働部所管に対する質疑を終結。

④ 商工観光部所管に対する質疑に入り、

文科委員長から、大橋晃議員（共産）の本科会への出席及び商工観光部所管に対する質疑の申し出についてはかり、異議なく許可

することに決定の後、

大橋 晃議員（共産）から、

サラ金問題に関し、サラ金問題に係る相談件数と内容、相談件数増加の原因、道貸金業指導要綱の運用のあり方、公共的交通機関におけるサラ金の広告自粛に対する見解、サラ金二法の立法趣旨に対する認識、金融機関からサラ金関連会社への融資の事実と大蔵省通達の厳守の考え方等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁があって商工観光部所管に対する質疑を終結。

○10月21日（金） 午前11時51分、第2委員会室において開議、午後5時35分散会

第2分科委員長

小田原 要四蔵（社会）

① 教育委員会所管に対する質疑に入り、

木戸浦 隆一委員（自民）から、

(1) 紋別地区養護学校の建設に関し、学校用地選定の経緯、複数候補地の用意とその候補地間に大きな条件格差があった原因、選定地において地すべり予測可能の有無、地すべり調査不十分に対する見解、地すべり対策工事の概要と工事後の敷地の状況、当該地に対する地すべり防止対策の今後の見通し、60年開校への決意と用地造成費用が高額となったことに対する見解について

(2) 札幌西区第三高等学校建設に関し、用地を現在地に選定した理由及び購入価格等、他校に比べて附帯工事費が多額になった理由、学校用地を選定する場合の教育長の基本的な姿勢について

舟山 広治委員（社会）から、

(1) 文化財保護に関し、道立博物館の必要性、埋蔵文化財の保護についての市町村との連携の強化の必要性

(2) 北海道文学館に関し、文学館建設に対する取組み状況、北海道文学館の法人化の考え方及び道財政の援助方策について

山口 真人委員（自民）から、

小樽市の教育問題に関し、小樽市の教育課程編成、道徳教育の実施状況、「白カリ」混在の具体的な内容、指導計画書と授業との相違

及び指導主事による実態把握の前向きな取組み等小樽市の教育実態に対する見解、現状認識と今後の対応策について

吉川 貴盛委員（自民）から、

協定書問題に関し、校長の役割と責任、教職員の外勤の目的、外勤中の教職員に対する校長の人事管理権、学校外で処理する業務の種類及び協定書でその承認が校長の恣意にわたらぬようにとしている趣旨、校外勤務の取扱いの実態とその妥当性、外勤中の教師に対する連絡方法及び服務規定違反の場合の賃金カット等の措置に対する見解、校外勤務の服務上の問題点と事務処理手続、口頭による外勤の申し出及び承認に対する見解、外勤の事務処理の実態について調査の必要性等について

質疑、意見及び要望があり教育長から答弁、議事進行の都合により、午後3時49分休憩、午後5時34分再開し直ちに散会。

○10月22日（土） 午前10時35分、第2委員会室において開議、午後2時32分閉会
第2分科委員長

小田原 要四蔵（社会）

① 教育委員会所管に対する質疑の続行、

教育長から、昨日の吉川貴盛委員（自民）の質疑に対する答弁の後、
吉川 貴盛委員（自民）から、

学校運営と教職員の服務に関する校外勤務の事務処理の実態把握と文書指導に対する見解、長期休業日の研修扱いに対する基本的な考え方、組合研修への参加に対する校長の承認の要否及び承認を与える場合の判断基準、時間外勤務命令を発する場合の範囲、修学旅行等に伴う回復措置の性格と研修処理の妥当性等について

中川 義雄委員（自民）から、

給特条例の施行に伴う協定書に関する、協定書の適用される範囲、地公法第55条との関連、協定書の法的性格等について

質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁があつて教育委員会所管に対する質疑を終結。

② 分科委員長から、付託案件に対する審査経

過報告について、分科委員長に一任されたい旨をはかり、異議なく決定。

○10月22日（土） 午後4時6分、第1委員会室において開議、午後5時33分閉会

委員長 和田 勝之（自民）

① 分科委員長から、それぞれ分科会における審査の経過について報告。

② 知事に対する総括質疑に入り、

木本 由孝委員（自民）から、

身体障害者のスポーツ振興に関する、知事の理解と振興方策、身障者スポーツ協会設立の考えについて

小野 秀夫委員（道政）から、

苦東開発計画に関する、臨空港型工業の今後の立地見通しと臨空港型工業団地の現状、苦東E地区の臨空性加味による道内各臨空港型工業団地に対する企業誘致への影響、地域の均衡ある発展を基本とする地域政策の理念に違背すると思われるがその所見、苦東と他の臨空型工業団地の競合に対する具体策、臨海型大規模工業を目指した苦東に臨空性をとり入れることとの矛盾、苦東開発の理念と本道に対する波及効果、苦東E地区の基本的性格と臨空型工業想定の有無、土地価格抑制対策、段階計画の性格とこの時期に臨空性を加味する必要性、苦東開発における弾力的運用の許容範囲、開発と均衡ある地域発展の理念に対する知事の所見について

質疑、意見及び要望があり、知事から答弁があつて知事に対する総括質疑を終結。付託案件に対する意見調整のため午後5時28分休憩、午後5時31分再開。

③ 委員長から、議案第1号ないし第4号について、いずれも原案可決とすることについてはかり、異議なく決定。

④ 委員長から、付託案件に対する審査経過報告について、委員長に一任されたい旨をはかり、異議なく決定。

企業会計決算特別委員会

○ 7月20日（水） 午後3時57分、第11委員会室において開議、午後4時7分散会

委員長 宇川 源吉（自民）

正副委員長の互選

- ① 高田 忠雄臨時委員長（道政）から、委員長互選の方法についてはかり、関根建二委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって宇川源吉委員（自民）を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法についてはかり、橋浪蔵委員（自民）の動議により指名推選の方法をもって渋谷澄夫委員（社会）を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等協議のため、午後4時1分休憩、午後4時4分再開。

休憩中協議の結果、本委員会の運営に当たっては、自民及び社会各2名、道政及び公明各1名計6名の理事を選びその協議により運営することをはかり、異議なく決定。理事には、橋浪蔵委員（自民）、木本由孝委員（自民）、萩上元春委員（社会）、関根建二委員（社会）、高田忠雄委員（道政）及び相沢武彦委員（公明）をそれぞれ選出。

- ④ 委員会の申し合わせ事項（1. 質疑の方法は、通告の形式によることとし、一括してこれを行うこと。ただし一問一答の形式により行う場合は、その旨を委員長に申し出ること。2. 発言の順位は、本会議における一般質問に準ずること。3. 委員の交代は、原則として認めないこと。4. 資料要求については、あらかじめ理事会において検討し、委員会の決定により行うこと。）についてはかり、異議なく決定。
- ⑤ 委員外議員の発言の取り扱いについて、委員会の決定により、委員の通告質疑終了後に発言を許可すること、書面審査及び資料要求は認めないことに決定。

- ⑥ 本委員会の今後の運営方法等については、理事会において協議、決定することとした。

○ 7月25日（月） 午後7時56分、第11委員会室において開議、午後8時3分散会

委員長 宇川 源吉（自民）

- ① 委員長から、議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。
- ② 審査日程について、配布の日程表のとおりとすることに決定。
- ③ 報告第26号ないし第32号を一括議題とし、衛生部長、林務部長、住宅都市部長及び公営企業管理者から配付の資料により各会計決算の概要について説明の後、代表監査委員から各会計決算に対する審査意見について説明。
- ④ 決算審査のため必要な資料の要求についてはかり、異議なく決定。
- ⑤ 付託の報告第26号ないし第32号について閉会中継続審査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ⑥ 委員長から、企業会計決算に係る現地調査の実施についてはかり、異議なく決定。派遣委員等については委員長に一任することとした。
- ⑦ 今後の審査日程について、7月27日から30日まで、8月1日、3日から6日まで、8日から10日まで、13日、16日から18日まで、20日、22日及び23日を書面審査日とすることに決定。
- ⑧ 書面審査室を第11委員会室に設置することを了承。

○ 8月19日（金） 午前10時38分、第11委員会室において開議、午後2時6分散会

委員長 宇川 源吉（自民）

- ① 委員長から、7月26日の委員会決定に基づく資料の提出があった旨報告。
- ② 委員長から、さきに実施した企業会計決算に係わる現地調査の概要について報告書が提出されている旨報告、異議なくこれを了承。
- ③ 報告第27号（昭和57年度北海道有林野事業会計決算に関する件）を議題とし、林務部所管に対する質疑に入り、
小田部 善治委員（自民）から、
(1) 林業振興のための地域設定等に関し、道

- 有林管理面積の減少要因、森林地域の指定による施業調整を行う考え方
- (2) 道有林における制限林に関し、道有林内における保安林等制限林の面積とその推移、保安林の機能低下の状況と施業制限の内容、制限林内施業に係る経費負担のあり方
 - (3) 森林資源の培養と公益機能の増大対策に関し、道有林基本計画策定時における木材需要の推定及び価格動向の把握、計画における事業量の減少と基本方針との関連
 - (4) 造林事業に関し、道有林における造林事業の減少、天然下種補整の增加理由と今後の対処策、造林事業の発注方法の改善の考え方
 - (5) 林道事業の推進と管理対策に関し、林道密度の状況、林道、経営道の開設費用と維持の単価、57年度の林道の維持管理費及び管理状況、林道の道道・市町村道への移管に対する見解
 - (6) 立木及び製品の販売対策に関し、立木及び製品の販売実績の減少理由と今後の対策、指名業者の対象範囲の拡大に対する見解、銘木の販売方法を改善する必要性
 - (7) 苗木の生産、供給に関し、57年度の苗木の生産実績が減少した理由、民間生産の苗木価格を上回っている理由、直営の苗木生産の縮小の考え方
 - (8) 57年度の経営収支に関し、予算と決算の対比、基金使用減少の要因、不用額が生じた理由
 - (9) 市町村の交付金及び一般会計繰出金に関し、57年度における交付金及び繰出金の内訳、交付金・繰出金の取扱いに対する検討状況と経営が安定するまで中止する考え方
 - (10) 道有林における不用遊休資産に関し、不用遊休資産の実態と処分の実績、今後の処分計画
 - (11) 執行体制の合理化に関し、現在の組織機構と職員の配置状況、事業所・作業所の統廃合に対する見解、職員の研修の充実、危険手当の支給に対する見解等について
- 菊地 芳郎委員（社会）から、**
- (1) 森林の公益的機能に関し、道有林のレク

リューション利用の状況と今後の積極的な活用に対する見解

- (2) 造林対策に関し、本道の広葉樹資源の実態、優良広葉樹の育成状況
- (3) 道有林経営の見通しに関し、累積欠損金の状況、経費の節減、事業の減少に伴う雇用、地域振興へ与える影響、道有林基本計画見直しに対する見解等について
質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁があつて林務部所管に対する質疑を終結。

○ 8月24日（水） 午前10時39分、第11委員会室において開議、午後2時37分散会

委員長 宇川 源吉（自民）

○ 報告第29号（昭和57年度北海道電気事業会計決算に関する件）、報告第30号（昭和57年度北海道工業用水道事業会計決算に関する件）、報告第31号（昭和57年度北海道有料道路事業会計決算に関する件）及び報告第32号（昭和57年度北海道工業団地開発事業会計決算に関する件）を一括議題とし、企業局所管に対する質疑に入り、

酒井 芳秀委員（自民）から、

有料道路事業に関し、支笏湖畔有料道路の建設目的及び建設費、経営内容及び道路の目的別利用状況、有料道路を無料化する時期等について

大平 盛雄委員（社会）から、

- (1) 苛東住宅団地に関し、未売却用地の取得費と借入金及び利子の総額、用地売却に対する取り組み状況、今後の売却見通しと土地の有効活用に対する見解
- (2) 工業用水道事業に関し、地区別施設利用率、契約水量と実際の給水量、施設の効率的な運営と料金体系の見直しの必要性、苛東第1工業用水道事業の概要、沙流川総合開発事業の概要、二風谷ダム及び平取ダムの建設費の負担割合、計画水量の算出根拠と過大投資となる懸念、苛東における企業の立地動向と工業用水の需要見通し等について

質疑、意見及び要望があり、公営企業管理者及び企業局長から答弁があつて企業局所管に対する質疑を終結。

○ 8月25日（木） 午前10時45分、第11委員会室において開議、午後3時35分散会

委員長 宇川 源吉（自民）

○ 報告第26号（昭和57年度北海道病院事業会計決算に関する件）を議題とし、衛生部所管に対する質疑に入り、

木本 由孝委員（自民）から、

道立病院の運営に関し、本道の医療体制に対する現状認識と問題点、道立病院の位置づけ、道立病院の再編整備の今後の進め方、松前・寿都病院の町移管に対する問題点、苦小牧病院の改築と今後の位置づけ、職業病に対する道立病院の対応策、道立病院の赤字の原因・未処理欠損金の将来見通し、病院建設に伴う元利償還のあり方、運用病床の有効活用に対する見解、病院の管理機能強化と医師確保策等について

関根 建二委員（社会）から、

道立病院事業に関し、道立病院の運営にあたっての基本的な考え方、病院経営の公共性と経済性との整合性を保持するための方策、医師確保対策の成果、空床の解消状況、広域圏における道立病院の役割りと地域の医療需要に的確に対応する必要性、道立病院の医師の定着対策、研修費の適切な執行に対する見解、治験薬の取り扱い基準の検討状況、精神障害者に対する医療対策等について

相沢 武彦委員（公明）から、

(1) 道立病院事業の決算に関し、57年度における事業運営の改善内容、経営健全化のための検討状況、収益費用明細書の記載方法の改善、固定資産除却費と固定資産売却損の区分とその根拠

(2) 病院の経営改善等に関し、各病院ごとの経営分析及び運営会議等の実施状況、北見病院において医業収益に対する医薬材料費の割合が高い理由、薬品の在庫管理と受け払い手続、未収金の債権管理方法、医業収益と医業費用の対応の明確化、給与費を医師、看護婦等に区分する必要性等について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁があって衛生部所管に対する質疑を終結。

○ 8月26日（金） 午前10時41分、第11委員会室において開議、午後零時10分散会

委員長 宇川 源吉（自民）

○ 報告第28号（昭和57年度北広島団地開発事業会計決算に関する件）を議題とし、住宅都市部所管に対する質疑に入り、

生駒 隆介委員（自民）から、

(1) 北広島団地開発事業決算に関し、収益的収入の減額の理由、宅地処分の不振の原因と今後の促進方策、57年度における宅地の未処分地の状況

(2) 北広島団地の宅地処分計画に関し、処分価格の推移と価格決定の方法、周辺宅地の価格との比較、今後の価格見通しと上昇抑制策、処分計画の見直しの内容、保留地の処分見通し、集合住宅用地の道営住宅等への活用の考え方、個別住宅用地について借地方式を検討する考え方、宅地処分の終了見通しと企業会計閉鎖の時期等について

谷川 英雅委員（社会）から、

北広島団地開発事業に関し、宅地の需給状況及び価格動向、企業会計を閉鎖した問題点、広島町との負担協定を改定する考え方、宅地処分の今後の推進方策等について

質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁があって、住宅都市部所管に対する質疑を終結。

(2) 付託案件に対する意見調整は、各派代表者会議において行うことにして決定。

○ 8月27日（土） 午前10時55分、第11委員会室において開議、午前10時58分閉会

委員長 宇川 源吉（自民）

① 委員長から、各派代表者会議における意見調整の結果について報告の後、報告第26号ないし第32号を一括議題とし、報告第27号及び第29号ないし第31号は認定議決、報告第26号、第28号及び第32号は意見を付し認定議決することについてはかり、異議なく決定。付託案件に対する委員長報告については委員長に一任することとした。

② 委員長から、付託案件に対する審査終了のあいさつがあった。

北海道議会時報第35巻第7号(昭和58年第3回定例会)

全国都道府県議会議長会

○10月20日（木） 都道府県会館において役員会を開催。会長代理（島根県議長）及び第82回定例総会開催地（滋賀県）議長のあいさつに引き続き、協議に入り、第82回定例総会の提出議案について、各委員長報告のとおり決定し、行政改革の推進に関する決議ほか1件を役員会提出議案として決定。次に、第82回定例総会の日程及び議事運営等について、決定又は了承の後、定例総会議決事項の要望運動方法を決定し、第84回定例総会の開催地については、東海北陸ブロックとすることとした。次に、昭和59年度本会予算大綱案及び明年度海外視察について、原案のとおりそれぞれ決定の後、閉会した。

○11月9日（水） 滋賀県大津市において役員会を開催、会長（兵庫県議長）及び地元議長のあいさつの後、協議に入り、定例総会の議事順序、日程及び議決事項の処理等について、それぞれ了承して、閉会した。

○11月9日（水） 滋賀県大津市において第82回定例総会を開催。地元滋賀県議長、会長（兵庫県議長）滋賀県知事及び大津市長のあいさつに引き続き、内閣総理大臣のメッセージ、自治大臣代理の祝辞及び衆参両院議長の祝電披露の後、自治功労者の表彰を行い、次に国民体育大会開催県議長のあいさつの後、議事に入り、昭和57年度会務及び会計報告、会計監督報告を承認し、ついで、役員会提出の「行政改革の推進に関する決議」、「地方財政の確立に関する決議」を原案のとおり、決定の後、各委員長から委員会における提出議案の審議経過と結果について報告の後、いずれも、原案のとおり決定し、第83回定例総会開催地を東京都に決定して、閉会した。

地方制度委員会関係

- 1 行政改革の推進について
- 2 地方財政の充実強化について

- 3 青少年の健全育成対策について
- 4 交通事故防止対策の推進について
- 5 暴力追放と取締りの強化について
- 6 旧軍人・軍属に対する恩給等の改善について
- 7 北方領土の早期返還について

社会文教委員会関係

- 1 痴呆性老人対策について
- 2 社会福祉対策について
- 3 小児難治性疾病対策について
- 4 自治体病院の経営健全化対策について
- 5 環境保全対策の推進について
- 6 スパイクタイヤ対策について
- 7 高等学校の新增設に対する国庫補助制度の拡充強化について
- 8 体育・スポーツ施設の整備充実について
- 9 文化財の保存対策について

商工労働委員会関係

- 1 中小企業の経営基盤の強化について
- 2 電源地域振興のための特別措置法の制定について
- 3 休廃止鉱山鉱害防止対策について

建設運輸委員会関係

- 1 住宅対策の推進について
- 2 道路整備の促進について
- 3 下水道整備の促進について
- 4 治水事業の推進について
- 5 急傾斜地崩壊対策事業の推進について
- 6 地域振興対策の推進について
- 7 震災対策の推進について
- 8 水資源対策の推進について
- 9 鉄道輸送網の整備と輸送力の強化等について

- 10 地方空港の整備促進について

- 11 港湾整備事業の促進について

農林水産委員会関係

- 1 農業基本政策の強化について
- 2 水田利用再編第3期対策について
- 3 畜産経営安定対策の拡充強化について
- 4 農畜水産物の輸入自由化及び枠拡大反対について
- 5 林業振興対策について
- 6 漁業振興対策について

10都道府県議会議長会（第133回）

○10月30日（月） 福岡市において開催。地元福岡県議長及び知事のあいさつの後、座長に地元議長を選出し、議事に入り、北海道議長から前回議決事項の処理報告の後、次の事項について協議、決定した。次いで、次回開催地を兵庫県に決定の後、次いで、東京都議会議長から、三宅島噴火の災害に係る義援金に対し、謝辞があった。次いで、全議事務総長から、第100回国会（臨時会）提出法律案件名およびその審議状況について説明の後、閉会した。

- 1 硫黄島の遺骨収集の促進について
(東京都提出)
- 2 地震防災対策の推進について
(神奈川県提出)
- 3 暴力団の取り締まり強化について
(愛知県提出)
- 4 医療保険制度について (京都府提出)
- 5 大韓航空機墜落事件の徹底究明と民間航空機運航の安全確保について
(兵庫県提出)
- 6 大韓航空機墜落事件に対する我が国の対応について (広島県提出)
- 7 パートタイム労働者の労働条件の改善について (福岡県提出)

資料

第3回定例会において議決を経た条例の公布調

件名	議決月日	公布月日	公布番号
北海道公共下水道条例	10.22	10.26	北海道条例第25号
北海道水産加工経営改善強化資金融通助成事業基金条例	同	同	北海道条例第26号
北海道身体障害者更生援護施設設置条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第27号
主要農作物種子法の実施に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第28号

10月のメモ

- 1日 ○世界最大の米海軍原子力空母カール・ビンソン（81,000トン）が、佐世保港に入港（日本への寄港は初めて。）
- 2日 ○英労働党大会で新党首に左派若手のホーブ、ニール・キノック下院議員（41才）を選出した。
○本道初の日米共同実動演習を前に、米陸軍参加隊員第一陣約380人が米本土から千歳空港に到着。4日訓練が始まり千歳市の陸上自衛隊東千歳駐屯地で日米両部隊の対面式が行われた。
- 3日 ○伊豆諸島三宅島（東京都三宅村）の雄山南西側山腹が火山爆発、300～400メートル幅の溶岩流が3本、海まで走り下り、海中でも爆発した。同島の阿古、薄木両地区の約560世帯が全滅、このため約2,200人が避難した。
- 4日 ○通産省は北電から申請のあった泊原子力発電所の建設計画について「国の基準に適合」として、原子力委員会、原子力安全委員会の双方に諮問した。
- 5日 ○ノーベル賞委員会は1983年度ノーベル平和賞をボーランドの非合法化された自主管理労組「連帶」のレグ・ワレサ議長に授与すると発表した。
- 7日 ○国会は、行革関連六法案を衆院行政改革特別委員会で、自民党と中道三党的賛成多数で可決。
○道内屈指の米どころ、上川地方を襲った風雪被害は、中、北部の11市町に及び、特に中央部では倒伏率が90%を超えた。
- 9日 ○全斗煥韓国大統領の南アジア・大洋州歴訪最初の訪問地、ビルマのラーングーンで爆弾テロに遭い、同行の徐錫俊副首相兼経済企画院長官、季範錫外相ら4閣僚を含む16人と、ビルマのアウン・チョウ・ミン情報文化相ら3人の計19人が死亡、同行記者ら48人が重軽傷を負った。全大統領は残り5カ国の訪問を中止、帰国。
- 10日 ○プロ野球パ・リーグは、西武ライオンズが2位の阪急と対戦し、2年連続優勝した。
- 11日 ○プロ野球セ・リーグは、巨人がヤクルト戦に勝ち2年ぶりの優勝を決めた。
- 12日 ○全道高校野球新人戦で、函館有斗高校が10年ぶり3度目の優勝を飾る。
- 14日 ○日本で初めて体外受精児が、東北大学医学部付属病院で同大産婦人科鈴木雅洲教授らのチームによって誕生した。
- 全斗煥韓国大統領は大幅な内閣改造を実施、首相には陳民生党代表委員、副首相兼経済企画院長官には申貿易協会長、外相に季体育相を決めた。
- ワルシャワ条約外相会議は、年末までに米ソ間に合意が成立しなくともジュネーブでの欧州中距離核戦争力削減交渉を続行すべきとのコミュニケを採択した。
- 15日 ○十勝管内士幌町東居辺の「居辺遺跡」から、完全なものとしては日本最古、1万2～3千年前と見られる平地住居跡が発見された。
- 16日 ○エベレスト登頂を目指していたイエティ同人隊の吉野寛隊長と禿博信隊員の2人が、登頂した後、頂上直下で死亡した。
- 第13回世界柔道選手権大会無差別級で齊藤仁四段が金メダル獲得。
- 17日 ○政府の税制調査会が所得課税の中期的あり方を中間答申。政府はこれを受けて年内と59年度の2段階減税の実施案を固める。
- 20日 ○政府は58年度の国家公務員給与を2%、約4,700円引き上げる方針を決めた。
- 21日 ①昭和58年度の文化勲章受章者5人と文化

功労者10人が決まった。

○日銀は公定歩合を0.5%引き下げて年5%とし、22日から実施することを決めた。

○日韓漁業暫定取り決めの延長交渉はソウルで、渡辺文雄水産庁長官、姜栄植水産庁長のトップ会議が行われ合意した。

22日 ○第3回定期道議会閉会

○国鉄白糠線は第1次廃止対象線のトップを切って廃止日を迎える、深まる秋の中を「さようなら列車」が走った。

23日 ○ペイルート国際空港近くの米海兵隊司令部と約2キロ北方のフランス軍中隊本ビルで大爆発が起った。米国防総省の発表によると死者146人、負傷者は69人に達した。仏国防相は仏軍兵士10人が死亡、13人が負傷、50人が行方不明、と明らかにした。

25日 ○レーガン米大統領は、米国と6カ国の東カリブ海諸国の軍隊がグレナダに上陸したと発表。隣国などの要請で在住米国人の保護、同国の軍事革命による危機の終了、法と秩序の回復のためと指摘した。

28日 ○渡島管内知内町湯の里で、約1万～1万3千年前の旧石器時代の墓穴が見つかった。国内では発見されておらず日本最古。

30日 ○トルコ北東部の都市エルズルム周辺でマグニチュード6の地震が発生、477人の死亡が確認された。死者は最終的に1,000人以上に達する見込み。

11月のメモ

1日 ○米国向け自動車輸出自主規制の延長問題を話し合う宇野通産相、ブロック米通省代表による日米通商協議が通産省で再開され、来年度の規制台数を185万台とすることを合意した。

2日 ○政府は58年度秋の叙勲、賜杯の受章者を発表した。今回の受章者は4,130人、うち女性232人で、本道関係者は245人。ほかに外国人叙勲者は16か国35人。

○国連総会本会議は、グレナダからの外国軍の即時撤退と新政府設立のための自由選挙などを求めた決議案を賛成108、反対9、棄権27の圧倒的多数で採決した。

3日 ○教員の養成、免許制度の在り方を検討していた教育職員養成審議会は、文相への答申原案をまとめた。

4日 ○ラングーン爆弾テロ事件は、朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）工作員の犯行だったと、ビルマ政府から発表された。

5日 ○米国防省は大韓機撃墜事件で、現場付近の日本海で米国が行っていた機体と「ブラックボックス」の捜索活動を打ち切ったと発表。

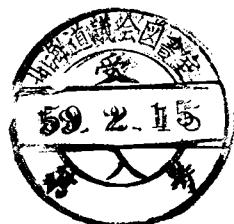
7日 ○55年度の衆院選をめぐり「一票の重みに最大1対3.94の地域格差があるのは憲法違反」と有権者が、選挙の無効確認を求めた「衆院議員定数訴訟」の上告審で、最高裁は違憲状態は認めたが、政治の安定など3点を挙げ結論的には合憲の判断を示した。

○プロ野球日本シリーズは、セ・巨人、パ・西武との間で行われたが、対戦成績4-3で西武が2連覇を達成した。

○ソ連の革命記念日式典に、アンドロボフ最高会議幹部会議長兼党書記長は政治局員の中でただ一人出席しなかった。最高幹部が参加しなかったことは異常な事態、同書記長の健康状態に内外の関心が集まっている。

8日 ○政府は対米武器技術供与に関する日米間交換公文を正式に了承。

- 9日 ○レーガン米大統領は国賓として来日、中曾根首相との第1回首脳会談が開かれ、国際情勢、二国間問題で意見を交換。11日同大統領は国会で演説、日米安保条約は両国安全保障関係の基盤であると表明。
- 農水省は水田利用再編第三期対策を決定した。
- 道央自動車道の札幌～岩見沢間31.9キロが完成、札幌インターチェンジで開通式が行われ、供用開始。
- 10日 ○奈良県明日香村で7世紀後半の龜虎古墳石室奥壁に四神図の一つ、玄武が描かれていることが明らかになった。
- 11日 ○全道各地のアイヌの人たちが伝承し保存してきた歌や踊り、器楽などが、「北海道アイヌ古式舞踊」として来年度、国の重要無形民俗文化財に指定されることがほぼ決まった。
- 12日 ○小樽運河を埋め立て、6車線の道道小樽臨港線を建設するためのクイ打ち工事が運河保存派市民の抗議行動をよそにスタート。
- 13日 ○第44回菊花賞レースは京都競馬場で行われ、ミスターシービーが優勝、シンザン以来19年ぶり、史上3頭目の三冠馬となった。
- 韓国訪問中のレーガン米大統領は、ソウルの北約50キロにある非武装地帯内を大統領として初めて視察。
- 14日 ○ヘーゼルタイン英国防相は、「米国製の新型巡航ミサイル第一陣がロンドン西方80キロのグリーナムコモン米軍基地に搬入され、近く配備される」と言明。米新型ミサイルのNATO配備は英国が最初。
- 16日 ○レバノン北部のパレスチナ解放機構のアラファトPLO議長支持派最後の拠点バダウイ・パレスチナ難民キャンプが攻防戦の末、反主流派の手に落ちた。
- 18日 ○本道唯一の酪農基地作りを目指し根室管内別海町を中心に建設が進められていた新酪農村建設事業が完成、竣工式が行われた。
- 20日 ○第5回東京国際女子マラソン選手権大会で、佐々木七恵が日本選手として初優勝。
- 21日 ○参院選で初当選した作家の野坂昭如氏が12月予定の衆院選で、田中元首相の選挙区、新潟3区から出馬することを正式発表。
- 22日 ○静岡県掛川市にあるレジャー・スポーツ施設「つま恋」の食堂でプロパンガスが爆発、客の会社員ら14人が死亡、27人が重軽傷を負った。
- 23日 ○中国共産党の胡耀邦総書記が公賓として来日した。24日中曾根首相と会談、27日横路知事らの案内で道開拓記念館など見学。
- 27日 ○大相撲九州場所千秋楽で、西横綱千代の富士が隆の里の3連覇を阻み、9度の優勝を飾った。
- コロンビア国営アビアンカ航空のジャンボ機が、マドリード空港に着陸直前に墜落、炎上し、185人が死亡、11人が負傷した。
- 28日 ○厚生省は、厚生、国民両年金制度の一元化を狙いとした年金制度改革案をまとめ、社会保険、国民年金の両審議会に諮問した。
- 29日 ○道教委は、59年度公立高適正配置計画を決めた。それによると増設は都市部の6校、17学級で削減は都市部の21校、23学級。



北海道議会時報 昭和58年第6号
昭和59年2月8日発行（通巻第35巻第7号）

編集 北海道議会事務局調査課
発行 北海道議会事務局

北海道議会時報第35巻第7号(昭和58年第3回定例会)